

平成25年度

教育に関する事務の管理および執行の状況

の点検および評価等の報告書

平成26年12月

米 原 市 教 育 委 員 会

目 次

1. 点検および評価制度の概要	
(1) 背景	1
(2) 目的	1
(3) 対象事業の考え方	1
(4) 評価の方法	1
2. 教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	3
(2) 教育委員会の活動状況	3
(ア) 教育委員会議の開催および議決状況	3
(イ) その他の活動状況	4
(ウ) 委員の就任状況	4
3. 事務の管理および執行状況の点検および評価等	
(1) 平成 25 年度重点目標の達成状況	4
(2) 施策の体系と事務事業一覧	7
(3) 点検および評価等の結果	9
対象事業の評価一覧	10
各事業の点検および評価等	
教育総務課所管事業	12
学校給食課所管事業	19
学校教育課所管事業	22
生涯学習課所管事業	32
歴史文化財保護課所管事業	45
図書館所管事業	48
保育幼稚園課所管事業	49
子育て支援課所管事業	54
こども家庭課所管事業	55
(4) 学校評価	56
幼稚園外部評価	56
小学校外部評価	62
中学校外部評価	67
(5) 米原市教育振興基本計画（目標指標）	72

1. 点検および評価制度の概要

(1) 背景

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正および平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成 20 年 4 月に施行されました。

この地教行法の改正目的である、「教育委員会の責任体制の明確化」のひとつとして、同法第 27 条の規定に基づき、教育委員会が毎年、その権限に属する事務の管理および執行の状況について点検および評価（以下「点検および評価」という。）を行い、その結果を公表することが義務付けられました。

(2) 目的

教育委員会は、首長から独立した中立的・専門的な立場で、学校教育、生涯学習をはじめ文化、スポーツなど幅広い分野に関する施策を展開する合議制による行政機関として設置されています。点検および評価等は、教育委員会が教育行政の事務の執行状況を点検および評価し、市民への説明責任を果たすことにより、市民の意向を踏まえながら、効果的・計画的な教育行政の推進に資することを目的とするものです。

なお、点検および評価の方法、議会への報告の方法などは、教育委員会が実情を踏まえて決定することとされています。

(3) 対象事業の考え方

本年度の点検および評価の対象は、平成 25 年度の事業実績を対象とし、その対象範囲は、地教行法第 23 条に基づく「教育委員会の職務権限」として規定されている事務をはじめ、市長の補助執行として行っている事務を含むすべての事務が対象となります。

ただし、現在米原市においては、「行政評価システム」を構築中であり、最終的には当該システムにリンクする形で点検および評価を行っていく予定ではありませんが、その間は教育委員会独自の点検および評価を行うこととします。

事業のまとめ方については、「米原市総合計画」の体系に基づく分類によりまとめることとしました。

(4) 評価の方法

評価の方法については、個々の事務事業について評価の目安となる成果指標が定まっていますが、評価について地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 5 項の規定に基づく、平成 25 年度における主要施策の成果説明書（以下

「主要施策の成果説明書」という。)の主要な施策の実績の事業分類により、教育委員会のみで自己点検および評価を行いました。また、「米原市教育振興基本計画」を平成23年3月に策定し、目標指標も設定しました。

『参考』

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」【抜粋】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（委員定数：5人 任期：4年）

役 職	氏 名	任 期
委員長	稲 村 邦 夫	H25. 3. 28～H29. 3. 27
委員長職務代理者	河 居 郁 夫	H26. 3. 25～H30. 3. 24
委 員	堀 田 佐和子	H23. 3. 25～H27. 3. 24
委 員	小 路 芙美恵	H24. 3. 25～H28. 3. 24
委 員（教育長）	山 本 太 一	H25. 8. 14～H29. 8. 13

(2) 教育委員会の活動状況

(ア) 教育委員会議の開催および議決状況

月 日	定例・臨時の別	議 決 事 項							協議事項	報告事項ほか
		条例案	規則	訓令要綱	委員等任命・委嘱等	予算案	後援等名義使用	その他		
H25. 4. 24	定例	3	1	4	1		8	1		
H25. 5. 21	定例	1	1		2	1	6	1		1
H25. 6. 27	定例		1		3		10			
H25. 7. 16	定例		1	1	1		7	1		
H25. 8. 12	臨時				1					
H25. 8. 19	定例	1		1		1	8	1		
H25. 9. 20	定例						7			4
H25. 10. 22	定例	1			1		2		2	1
H25. 11. 21	定例	1				1	1			4
H25. 12. 19	定例						2	1	2	8
H26. 1. 23	定例						3	1	1	2
H26. 2. 18	定例	3	1			2	1	4	1	3
H26. 2. 24	臨時								2	
H26. 3. 11	臨時							1		
H26. 3. 17	臨時							1		
H26. 3. 20	定例		2	2				2	1	4
合 計	定例 12回 臨時 4回	10	7	8	9	5	55	14	9	27

(イ) その他の活動状況

- 学校園訪問（各小学校・中学校・幼稚園および保育所）
- 各校入学式および各園入園式
- 各校園運動会および体育祭
- 各校卒業式および各園卒園式
- 成人式等各種行事
- 河南小学校開校式
- 双葉総合体育館竣工式
- かなん認定こども園建設起工式、おうみ認定こども園建設起工式
- 研修等
 - ・滋賀県都市教育委員会連絡協議会（総会・研修会・県外研修・教育長会議）
 - ・滋賀県市町村教育委員会研究協議会
 - ・近畿都市教育長協議会（研究協議会）
 - ・全国都市教育長協議会
 - ・滋賀県へき地教育振興促進期成会（教育長研修）

(ウ) 委員の就任状況

- ・米原市学校給食運営委員会委員
- ・米原市青少年育成市民会議
- ・米原市人権尊重のまちづくり審議会委員

3. 事務の管理および執行状況の点検および評価等

(1) 平成 25 年度重点目標の達成状況

米原市では、市の長期計画に沿った政策や市長の施政方針、さらには庁内部長会議で合意された重点事項等を踏まえ、部局別重点目標を設定し、目標達成に向けた取組を進め、成果を評価しています。

平成 25 年度終了時点における教育部の重点目標の達成状況は、以下のとおりです。

【達成度】

達成度		項目数
達成度 5	目標を上回る成果	
達成度 4	目標をやや上回る成果	1
達成度 3	目標どおりの成果	9
達成度 2	目標をやや下回る成果	
達成度 1	目標を下回る成果	

計 10 項目

総合計画体系

政策	基本施策	単位施策	事務事業(成果表に準じた分類)	主管課	備考
1. 誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち					
1. 地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる					
①「生きる力」を育む教育の充実 ②給食関連施設や農業を通じた食育の充実 ③子どもを支える教育環境の充実 ④家庭や地域の教育力の向上					
			1. 事務局教育振興事業	教育総務課	校外活動等バス管理
			2. 小学校管理運営事業	教育総務課	小学校施設管理・バス通学補助
			3. 小学校教育振興事業	教育総務課	要保護準要保護児童修学援助(小) 特別支援教育就学奨励
			4. 小学校施設整備事業	教育総務課	
			5. 中学校管理運営事業	教育総務課	
			6. 中学校教育振興事業	教育総務課	要保護準要保護児童修学援助(中) 特別支援教育就学奨励
			7. 中学校施設整備事業	教育総務課	
			8. 学校給食総務管理事業	学校給食課	
			9. 学校給食事業	学校給食課	学校給食施設維持管理・運営事業
			10. 事務局教育振興事業	学校教育課	就学指導委員会、通級指導教室
			11. 教育センター事業	学校教育課	免許外指導等解消講師派遣・学力状況調査
			12. 子どもケアサポートセンター事業	学校教育課	子どもケアサポーター・教育相談・心の教育相談
			13. いきいきスクールサポーター派遣事業	学校教育課	
			14. 小学校管理運営事業	学校教育課	
			15. 小学校教育振興事業	学校教育課	
			16. 中学校管理運営事業	学校教育課	
			17. 中学校教育振興事業	学校教育課	
			18. 生涯学習のまちづくり事業	生涯学習課	
			33. 幼稚園管理運営事業・教育振興事業	保育幼稚園課	
			34. 幼稚園施設整備事業	保育幼稚園課	
			35. 学校統合検討事業	保育幼稚園課	
			36. 次代を担う青少年育成事業	子育て支援課	
			37. 少年センター事業	こども家庭課	
2. 誰もが文化・芸術・スポーツを楽しみ健やかに暮らせるまちをつくる					
①文化芸術の振興 ②市民文化活動への支援 ③文化遺産の保存活用 ④競技スポーツの充実 ⑤スポーツ振興のための支援 ⑥スポーツ環境の整備					

総合計画体系

政策	基本施策	単位施策	事務事業(成果表に準じた分類)	主管課	備考		
			21. 文化のまちづくり事業	生涯学習課			
			25. 体育施設管理事業	生涯学習課			
			26. 体育施設整備事業	生涯学習課			
			27. 生涯スポーツ推進体制整備事業	生涯学習課			
			28. 文化芸術振興施設管理運営事業	生涯学習課			
			29. 文化財保護活動事業	歴史文化財保護課			
			30. 文化財施設管理運営事業	歴史文化財保護課			
			31. 文化的景観保護推進事業	歴史文化財保護課			
			3. 人生を豊かにする学びを活かせるまちをつくる				
			①地域で学ぶ環境づくりの推進				
			②学びの場づくりの推進				
			③学びを活用できる環境づくりの推進				
			④図書館整備の充実				
			18. 生涯学習のまちづくり事業			生涯学習課	
			20. 地域人材育成事業			生涯学習課	ルッチ大学運営事業
			22. 伊吹薬草の里文化センター管理運営事業			生涯学習課	
			23. 成人式開催事業			生涯学習課	
			24. 公民館管理運営事業			生涯学習課	
			32. 図書館管理運営事業			図書館	
			4. 一人ひとりが尊重され平和を大切にすまちをつくる				
			①多様な学習機会の充実				
			②多文化共生の推進				
			③男女共同参画の推進				
			19. 人権教育推進事業			生涯学習課	人権教育啓発推進事業
			2. 市民の絆で築く心と体の健康なまち				
			3. 高齢者や障がいのある人がいきいきと元気に暮らせるまちをつくる				
			④高齢者の健康づくりの促進				
			27. 生涯スポーツ推進体制整備事業			生涯学習課	
3. 田舎都市が魅せるいやしのまち							
3. 美しい風景を守り維持するまちをつくる							
②地域の良さを活かした景観の形成							
31. 文化的景観保護推進事業			歴史文化財保護課				

(2) 点検および評価等の結果

主要な施策の成果説明書の事業ごとに、教育委員会に関連する事務を 37 事業に分類し、事業ごとに点検および評価等を行いました。

○ 事業ごとに、総合計画上の位置付け、政策・基本施策・単位施策・基本事業を記載しています。

(ア) 平成 25 年度の予算額、決算額、執行率および決算における財源内訳を下表「財源内訳の略称」のとおり示し、当該事業の概要を記載しています。

(イ) 事業の指標として、平成 25 年度における進捗度および市民一人あたりのコスト等をあげています。

① 市民一人あたりの金額は、決算額を平成 25 年度末現在の米原市人口 40,354 人で除した数値です。

(ウ) 対象事業の主な実績を記載しています。

(エ) 対象事業の達成度を A から E の 5 段階の評価を行い、評価の内容をまとめています。

【評価ランク】

A	期待以上に達成できた	・当該年度の当該計画以上に成果が上げられた ・当初計画以上に早く事業が完了した
B	期待をやや上回る程度に達成できた	・変更は生じたが、期待をやや上回る成果があった ・初期の目的をおおむね達成できた
C	期待どおり	・前年度と同様の実績であった ・ほぼ計画どおり事業を実施できた
D	やや不十分である	・期待を下回る実績であった ・事業は、実施できたが、成果についてはやや課題が残った
E	不十分である	・当該年度の計画が実施できなかった

【財源内訳の略称】

財源の名称	略号	財源の名称	略号
分担金および負担金	分	寄付金	寄
使用料および手数料	使	繰入金	繰
国庫支出金	国	繰越金	越
県支出金	県	諸収入	諸
財産収入	財	一般財源	一般
市債	債		

【対象事業の評価一覧】

対象事業の評価を行った結果の主管課別評価は以下のとおりとなりました。

番号	事務事業名	評価	主管課
1	事務局教育振興事業	C	教育総務課
2	小学校管理運営事業	C	〃
3	小学校教育振興事業	C	〃
4	小学校施設整備事業	A	〃
5	中学校管理運営事業	C	〃
6	中学校教育振興事業	C	〃
7	中学校施設整備事業	B	〃
8	学校給食総務管理事業	C	学校給食課
9	学校給食事業	C	〃
10	事務局教育振興事業	B	学校教育課
11	教育センター事業	C	〃
12	子どもケアサポートセンター事業	B	〃
13	いきいきスクールサポーター派遣事業	B	〃
14	小学校管理運営事業	C	〃
15	小学校教育振興事業	C	〃
16	中学校管理運営事業	C	〃
17	中学校教育振興事業	C	〃
18	生涯学習のまちづくり事業	C	生涯学習課
19	人権教育推進事業	C	〃
20	地域人材育成事業	C	〃
21	文化のまちづくり事業	C	〃
22	伊吹薬草の里文化センター管理運営事業	C	〃
23	成人式開催事業	C	〃
24	公民館管理運営事業	C	〃
25	体育施設管理経費	C	〃
26	体育施設整備事業	C	〃
27	生涯スポーツ推進体制整備事業	C	〃
28	文化芸術振興施設管理運営事業	B	〃
29	文化財保護活動事業	C	歴史文化財保護課
30	文化財施設管理運営事業	C	〃

番号	事務事業名	評価	主管課
31	文化的景観保護推進事業	B	歴史文化財保護課
32	図書館管理運営事業	C	図書館
33	幼稚園管理運営事業・教育振興事業	C	保育幼稚園課
34	幼稚園施設整備事業	A	〃
35	学校統合検討事業	B	〃
36	次代を担う青少年育成事業	C	子育て支援課
37	少年センター事業	C	こども家庭課

主管課名	A	B	C	D	E	対象事業数
教育総務課	1	1	5			7
学校給食課			2			2
学校教育課		3	5			8
生涯学習課		1	10			11
歴史文化財保護課		1	2			3
図書館			1			1
保育幼稚園課	1	1	1			3
子育て支援課			1			1
こども家庭課			1			1
計	2	7	28			37

事業番号	1					
款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育振興費	
事業名	継続	事務局教育振興事業			主管課	教育委員会 教育総務課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち				
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる				
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実				
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度	
予算額	5,321,000	4,792,000	国 費	0	0	
うち繰越	0	0	県 費	0	0	
決算額	3,225,701	2,607,107	市 債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	0	0	
執行率(%)	60.6	54.4	一般財源	3,225,701	2,607,107	
80%以下の理由	<p>市有バスの運行規定の見直しにより白バスの規制を厳格に適用したこと、および平成26年度から学校支援バス業務を委託することとし、年式の古いバスの車検を受けず年度末に廃止したため。</p>		その他の内訳(25年度)			
事業コスト	事業費	人件費(0.10人役)	計			
決算額	3,226千円	731千円	3,957千円			
市民1人当たり(40,354人)	80円	18円	98円			
事業の目的および内容						
<p>(1)総合的な学習を通じ、子どもたちに幅広い体験ができるようバスを運行し、各学校や幼稚園などの校外・園外活動の充実や学校間の交流を促進します。</p> <p>(2)県立米原高等学校の未登記となっている用地2筆の所有権移転登記を行います。</p>						
事業の実績 ※幼稚園園児数475人、小学校児童数2,261人、中学校生徒数1,238人(平成25年5月1日現在)						
<p>(1)学校支援バス3台と幼稚園バス6台・伊吹地域スクールバス3台・山東小学校スクールバス1台、河南小学校スクールバス1台を校外活動等のため運行しました。 3,078,701円</p> <p>①校外活動バス運転手賃金(市有バス利用分含む。) 1,763,450円</p> <p>②バス維持管理経費(学校支援バスのみ) 1,315,251円(燃料費・修繕料等)</p> <p>(2)県立米原高等学校用地の所有権移転登記事務を進めました。 147,000円 (未登記筆数2筆)</p>						
評価の内容					評価	
市内外への校外・園外活動にバス運行を利用することにより、日常での学校生活では得ることのできない体験学習・環境学習および創作活動などを行い、様々な体験を通じて子どもたちの社会性を養う一助となりました。					C	

事業番号		2				
款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	
事業名	継続	小学校管理運営事業			主管課	教育委員会 教育総務課
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
		基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
		単位施策	子どもを支える教育環境の充実			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度	
予算額	38,730,000	29,098,000	国 費	0	0	
うち繰越	0	0	県 費	199,000	108,000	
決算額	35,001,382	26,608,799	市 債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	0	0	
執行率（％）	90.4	91.4	一般財源	34,802,382	26,500,799	
80%以下の理由			その他の内訳（25年度）			
事業コスト		事業費	人件費（0.60人役）	計		
決算額		35,001千円	4,385千円	39,386千円		
市民1人当たり（40,354人）		867円	109円	976円		
児童1人当たり（2,261人）		15,480円	1,939円	17,419円		
事業の目的および内容						
<p>(1)小学校施設の適切な維持管理により安全な学習環境を確保し、円滑な施設の管理運営を行います。</p> <p>(2)通学が困難な児童のためのスクールバスの運行や路線バス等の通学者への支援など通学環境を維持します。</p>						
事業の実績		※小学校児童数 2,261人（平成25年5月1日現在・・・学校基本調査基準日）				
(1)小学校施設や設備を維持管理するため各種管理業務を委託しました。 （警備保障・消防設備保守点検・受水槽清掃・エレベーター保守点検・ 自家用電気工作物保安業務・プールろ過装置保守点検・プール水質検査 ・灯油地下タンク点検ほか）				7,532,651円		
(2)事務機器のリース契約を継続して行い、情報教育や学校事務に活用しました。 （校務用パソコン・コンピュータ教室パソコン・印刷機・複写機）				1,436,187円		
(3)救急対策のためAED（自動体外式除細動器）のリース契約を継続しました。 機器使用料（10校）				742,140円		
(4)施設の運営に必要な管理備品を購入しました。 （ワイヤレスメガホン、デジタルビデオカメラ、ブルーヒーター、パーテーションほか）				1,616,963円		
(5)安全な通学環境を確保するためバス通学費の補助を行いました（補助率100%）。 （河南小学校 7人・米原小学校 17人・柏原小学校 34人・息長小学校 11人）				2,235,450円		
(6)伊吹地域3台（北部、中部、東部）、山東小学校1台、河南小学校1台のスクールバスを運行しました。 バス運転手賃金、燃料費等バス維持管理経費 （バス利用者：いぶき認定こども園5人・小学校 198人・中学校 32人）				14,568,986円		
(7)老朽化が進んでいた伊吹地域北部スクールバスを更新しました（29人乗り1台）。				5,466,943円		
評価の内容					評価	
<p>(1)施設維持管理および運営のため、各種管理業務委託の実施や事務機器等のリース、施設に必要な備品の購入を行うことにより、適切な教育空間の確保につなげることができました。</p> <p>(2)小学校児童の遠距離通学に対してのスクールバス運行や路線バス・デマンドタクシーの補助により、児童の保護者の負担軽減、安全な通学環境の確保につなげることができました。</p>					C	

事業番号		3																											
款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費																								
事業名	継続	小学校教育振興事業			主管課	教育委員会 教育総務課																							
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち																										
		基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる																										
		単位施策	子どもを支える教育環境の充実																										
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度																								
予算額	14,817,000	18,788,000	国費	475,000	503,000																								
うち繰越	0	0	県費	0	0																								
決算額	13,775,137	17,746,925	市債	0	0																								
うち繰越	0	0	その他	0	0																								
執行率(%)	93.0	94.5	一般財源	13,300,137	17,243,925																								
80%以下の理由			その他の内訳(25年度)																										
事業コスト		事業費	人件費(0.25人役)	計																									
決算額		13,775千円	1,827千円	15,602千円																									
市民1人当たり(40,354人)		341円	45円	386円																									
児童1人当たり(2,261人)		6,092円	808円	6,900円																									
事業の目的および内容																													
<p>(1)コンピュータ教室の機器を継続的に配備し、情報教育の強化を図ります。</p> <p>(2)経済的な理由や身体的な理由により、就学困難な児童への援助を行い、安心できる学習環境となるよう支援します。</p>																													
事業の実績 ※小学校児童数 2,261人(平成25年5月1日現在・・・学校基本調査基準日)																													
<p>(1)情報教育の強化を図るため、コンピュータ教室用機器のリースを行いました。 3,747,975円</p> <p>(2)経済的な理由や身体的な理由により、学校に通学することが困難な児童への学用品費や給食費等の一部を援助し、安心できる学習環境となるよう支援しました。 10,027,162円</p>																													
<p>①要保護 0人 0円</p> <p>②準要保護 150人 8,623,856円</p> <p>③特別支援教育就学奨励費 45人 1,403,306円</p>																													
<p>※支給対象者の5年間の推移 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要保護</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>準要保護</td> <td>128</td> <td>132</td> <td>141</td> <td>138</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育就学奨励金</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>54</td> <td>49</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>							H21	H22	H23	H24	H25	要保護	1	0	1	1	0	準要保護	128	132	141	138	150	特別支援教育就学奨励金	32	32	54	49	45
	H21	H22	H23	H24	H25																								
要保護	1	0	1	1	0																								
準要保護	128	132	141	138	150																								
特別支援教育就学奨励金	32	32	54	49	45																								
評価の内容					評価																								
<p>市内外への校外・園外活動にバス運行を利用することにより、日常での学校生活では得ることのできない体験学習・環境学習および創作活動などを行い、様々な体験を通じて子どもたちの社会性を養う一助となりました。</p>					C																								

事業番号		4				
款	10 教育費	項	2 小学校費	目	3 施設整備費	
事業名	継続	小学校施設整備事業			主管課	教育委員会 教育総務課
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
		基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
		単位施策	子どもを支える教育環境の充実			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度	
予算額	387,338,000	275,548,000	国 費	139,132,000	10,100,000	
うち繰越	185,888,000	0	県 費	0	0	
決算額	251,323,344	87,212,039	市 債	72,100,000	62,500,000	
うち繰越	177,413,850	0	その他	0	0	
執行率（％）	64.9	31.7	一般財源	40,091,344	14,612,039	
80%以下の理由			その他の内訳（25年度）			
小学校空調設備整備工事に係る手数料および工事費（108,405千円）と春照小学校バリアフリー化工事に係る工事費（4,344千円）を翌年度へ繰り越したため。						
事業コスト		事業費	人件費（1.20人役）	計		
決算額		251,323 千円	9,136 千円	260,459 千円		
市民1人当たり（40,354人）		6,228 円	226 円	6,454 円		
事業の目的および内容						
<p>(1)老朽施設の解消や不都合箇所の補修・修繕など緊急性の高いものから計画的に整備を進め、安全で安心な教育環境の確保を目指します。</p> <p>(2)小学校施設のバリアフリー化のための改修を行い、適切な教育環境の確保を図ります。</p> <p>(3)子どもたちが快適に学べる環境をつくるため、全小学校に空調設備を整備します。</p>						
事業の実績						
<p>(1)坂田小学校校舎増築工事 児童数の増加に伴い教室が不足することから、校舎の増築工事を行いました。（4教室増設） ①設計監理委託 2,908,500円 ②校舎増築工事 110,220,600円</p> <p>(2)坂田小学校トイレ増設工事 児童数に対し不足しているトイレを増設するため、トイレ棟の建設工事を行いました。 ①設計監理委託 693,000円 ②トイレ増設工事 9,366,000円</p> <p>(3)柏原小学校エレベーター設置等工事 身体に障がいのある児童が安全で円滑に学校生活を送れるようエレベーターを設置するとともに、非常階段を設置しました。 ①工事監理業務委託 1,260,000円 ②エレベーター設置等工事 62,515,950円</p> <p>(4)坂田小学校舗装修繕 ①舗装工事 4,314,450円</p> <p>(5)柏原小学校校舎防水工事 校舎の雨漏れが酷く、授業に支障があるため、屋根の防水工事を行いました。 ①工事監理業務委託 262,500円 ②校舎防水工事 24,118,500円</p> <p>(6)米原小学校プール改修工事 プールの塗装が劣化により剥がれ水泳中に怪我をするおそれがあるため、塗装工事を行いました。 ①プール改修工事 6,293,700円</p> <p>(7)小学校空調設備等設置工事設計業務委託（9小学校） 子どもたちの快適な学習環境を確保するため、空調設備等設置工事の設計を行いました。 ①設計業務委託 15,939,000円</p> <p>(8)小学校施設不良箇所修繕等 各学校における不良箇所の修繕や突発的な故障の対応を行いました。 【主な修繕】 ①FFストーブ修繕 162,225円 ②春照小プール給水バルブ取替修繕 230,465円 ③米原小グラウンド屋外トイレ配管つまり修繕 282,450円</p>						
評価の内容					評価	
<p>(1)各施設の不良箇所等の補修、修繕および工事の実施により、適切な教育空間の確保につなげることができました。</p> <p>(2)次年度の小学校空調設備工事に向けて設計業務を実施し、次年度の工事完了に向けた準備が整いました。</p>					A	

事業番号	5																				
款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費																
事業名	継続	中学校管理運営事業			主管課	教育委員会 教育総務課															
総合計画上の 位置づけ	政 策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち																			
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる																			
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実																			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度																
予算額	8,803,000	9,692,000	国 費	0	0																
うち繰越	0	0	県 費	105,000	205,000																
決算額	7,954,965	9,679,583	市 債	0	0																
うち繰越	0	0	その他	0	0																
執行率(%)	90.4	99.9	一般財源	7,849,965	9,474,583																
80%以下の理由			その他の内訳(25年度)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業コスト</th> <th>事業費</th> <th>人件費(0.40人役)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>7,955千円</td> <td>2,924千円</td> <td>10,879千円</td> </tr> <tr> <td>市民1人当たり(40,354人)</td> <td>197円</td> <td>72円</td> <td>269円</td> </tr> <tr> <td>生徒1人当たり(1,238人)</td> <td>6,426円</td> <td>2,362円</td> <td>8,788円</td> </tr> </tbody> </table>						事業コスト	事業費	人件費(0.40人役)	計	決算額	7,955千円	2,924千円	10,879千円	市民1人当たり(40,354人)	197円	72円	269円	生徒1人当たり(1,238人)	6,426円	2,362円	8,788円
事業コスト	事業費	人件費(0.40人役)	計																		
決算額	7,955千円	2,924千円	10,879千円																		
市民1人当たり(40,354人)	197円	72円	269円																		
生徒1人当たり(1,238人)	6,426円	2,362円	8,788円																		
事業の目的および内容																					
中学校施設の適切な維持管理により安全な学習環境を確保し、円滑な施設の管理運営を行います。																					
事業の実績 ※中学校生徒数 1,238人(平成25年5月1日現在・・・学校基本調査基準日)																					
(1)中学校施設や設備を維持管理するため各種管理業務を委託しました。 4,347,347円 (警備保障・消防設備保守点検・受水槽清掃・エレベーター保守点検 ・自家用電気工作物保安業務・プールろ過装置保守点検・プール水質検査 ・灯油地下タンク点検)																					
(2)事務機器のリース契約を継続して行い、情報教育や学校事務に活用しました。 844,153円 (校務用パソコン・コンピュータ教室パソコン・印刷機・複写機 ・給食管理システム)																					
(3)救急対策のためAED(自動体外式除細動器)のリース契約を継続しました。 385,560円 機器使用料(6校)																					
(4)施設の運営に必要な管理備品を購入しました。 1,213,801円 (教卓、生徒用いす、体重計、自動血圧計、牛乳保冷庫、洗濯機ほか)																					
評価の内容					評価																
施設維持管理および運営のため、各種管理業務委託の実施や事務機器等のリース、施設に必要な備品の購入を行うことにより、適切な教育空間の確保につなげることができました。					C																

事業番号	6					
款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費	
事業名	継続	中学校教育振興事業			主管課	教育委員会 教育総務課
総合計画上の 位置づけ	政 策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち				
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる				
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実				
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度	
予算額	13,319,000	11,380,000	国 費	367,000	367,000	
うち繰越	0	0	県 費	0	0	
決算額	11,111,900	9,289,705	市 債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	0	0	
執行率(%)	83.4	81.6	一般財源	10,744,900	8,922,705	
80%以下の理由			その他の内訳(25年度)			
事業コスト		事業費	人件費(0.25人役)	計		
決算額		11,112 千円	1,827 千円	12,939 千円		
市民1人当たり(40,354人)		275 円	45 円	320 円		
生徒1人当たり(1,238人)		8,976 円	1,476 円	10,452 円		
事業の目的および内容						
<p>(1)コンピュータ教室の機器を継続的に整備し、情報教育の強化を図ります。</p> <p>(2)経済的な理由や身体的な理由により、就学困難な生徒への援助を行い安心できる学習環境となるよう支援します。</p>						
事業の実績 ※中学校生徒数 1,238人(平成25年5月1日現在・・・学校基本調査基準日)						
<p>(1)情報教育の強化を図るため、コンピュータ教室用機器のリースを行いました。 1,877,400円</p> <p>(2)経済的な理由や身体的な理由により、学校に通学することが困難な生徒への学用品費や給食費等の一部を援助し、安心できる学習環境となるよう支援しました。 9,234,500円</p> <p>①要保護 0人 0円 ②準要保護 88人 8,172,375円 ③特別支援教育就学奨励費 22人 1,062,125円</p>						
※支給対象者の5年間の推移 (単位:人)						
	H21	H22	H23	H24	H25	
要保護	0	3	3	1	0	
準要保護	85	85	94	84	88	
特別支援教育就学奨励金	11	17	21	22	22	
評価の内容					評価	
市内外への校外・園外活動にバス運行を利用することにより、日常での学校生活では得ることのできない体験学習・環境学習および創作活動などを行い、様々な体験を通じて子どもたちの社会性を養う一助となりました。					C	

事業番号		7			
款	10 教育費	項	3 中学校費	目	3 施設整備費
事業名	継続 中学校施設整備事業	主管課	教育委員会 教育総務課		
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	303,798,000	203,228,000	国費	86,960,000	0
うち繰越	193,698,000	0	県費	0	0
決算額	217,002,285	9,030,228	市債	111,100,000	3,500,000
うち繰越	173,739,900	0	その他	0	0
執行率(%)	71.4	4.4	一般財源	18,942,285	5,530,228
80%以下の理由			その他の内訳(25年度)		
大東中学校エレベーター設置工事に係る工事費(42,594千円)と河南中学校バリアフリー化工事に係る工事費(7,200千円)を翌年度へ繰り越したため。					
事業コスト		事業費	人件費(0.90人役)	計	
決算額		217,002千円	6,578千円	223,580千円	
市民1人当たり(40,354人)		5,377円	163円	5,540円	
事業の目的および内容					
(1)老朽施設の解消や不都合箇所の補修・修繕など緊急性の高いものから計画的に整備を進め、安全で安心な教育環境の確保を目指します。 (2)中学校施設のバリアフリー化のための改修を行い、適切な教育環境の確保を図ります。					
事業の実績					
(1)柏原中学校耐震補強工事 平成21年度に実施した耐震診断で耐震性が無いと判定された校舎の耐震補強工事を行いました。 ①工事監理業務委託 1,672,650円 ②耐震工事 128,743,650円					
(2)大東中学校グラウンド整備工事設計委託 グラウンドの全面改修工事を行うための設計業務を行いました。 ①設計業務委託 6,720,000円					
(3)大東中学校エレベーター設置工事設計委託 身体に障がいのある生徒が安全で円滑に学校生活を送れるようエレベーター設置を進めました。 ①設計監理業務委託 2,940,000円 ②エレベーター設置工事(前金40%) 22,377,600円					
(4)河南中学校エレベーター設置工事 身体に障がいのある生徒が安全で円滑に学校生活を送れるようエレベーターを設置しました。 ①工事監理業務委託 892,500円 ②エレベーター設置工事 42,359,100円					
(5)米原中学校フェンス等改修工事 老朽化が著しいグラウンド周囲のフェンスの改修工事を行いました。 ①フェンス改修工事 2,908,500円					
(6)中学校施設不良箇所修繕 各学校における不良箇所の修繕や突発的な故障の対応を行いました。 【主な修繕】 ①米原中柔剣道場天井修繕 286,650円 ②伊吹山中地下タンク修繕 2,200,800円 ③伊吹山中テニスコート人工芝修繕 845,250円 ④米原中ガス漏れ火災警報設備修繕 304,500円 ⑤柏原中体育館水銀灯回路漏電等修繕 312,900円					
評価の内容					評価
施設維持管理および運営のため、各施設不都合箇所等の補修・修繕工事の実施により、適切な教育空間の確保につなげることができました。					B

事業番号		8									
款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	4 学校給食費						
事業名	継続	学校給食総務管理事業			主管課	教育委員会 学校給食課					
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち								
		基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる								
		単位施策	給食関連施設や農業を通じた食育の充実								
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度						
予算額	579,000	595,000	国費	0	0						
うち繰越	0	0	県費	0	0						
決算額	539,163	515,840	市債	0	0						
うち繰越	0	0	その他	0	0						
執行率(%)	93.1	86.7	一般財源	539,163	515,840						
80%以下の理由			その他の内訳(25年度)								
事業コスト		事業費	人件費(0.50人役)	計							
決算額		539千円	3,655千円	4,194千円							
市民1人当たり(40,354人)		13円	91円	104円							
事業の目的および内容											
給食施設および学校給食の適正かつ円滑な運営を図ります。											
事業の実績											
(1)学校給食運営委員会の開催(3回) 委員報酬 88,000円 運営委員数 17人 (報酬支払対象11人) 学校給食の運営に関し協議事項の審議、意見を求めました。											
(2)食物アレルギー対応検討委員会の開催(2回) 報償費 8,000円 食物アレルギーを持つ園児・児童・生徒の給食について、代替食・除去食の対応について検討を行いました。平成25年度の食物アレルギー対応人数は、東部・西部給食センター合わせて97人の対応を行いました。											
食物アレルギー食品別一覧(人数)											
項目	卵	牛乳	乳製品	甲殻類	魚介類	種実類	大豆	果物	野菜	小麦	その他 (チョコレート等)
東部	31	14	8	15	14	24	3	15	3	2	3
西部	11	7	8	3	7	5	0	6	2	2	0
(注)1人で2種類以上の食物アレルギーを持っている子どもがいるため、実人数は97人です。											
(3)給食費保護者負担金口座振替手数料 436,163円(口座振替件数 35,574件) 給食費の口座振替について、各金融機関へ口座振替手数料を負担しました。											
評価の内容					評価						
給食業務の円滑な運営と食物アレルギーへの適切な対応により、安心安全な学校給食を提供することができました。					C						

事業番号	9					
款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	4 学校給食費	
事業名	継続 学校給食事業	主管課			教育委員会 学校給食課	
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち				
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる				
	単位施策	給食関連施設や農業を通じた食育の充実				
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度	
予算額	331,879,000	323,924,000	国費	0	0	
うち繰越	0	0	県費	0	0	
決算額	327,917,110	323,306,412	市債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	191,473,021	198,441,932	
執行率(%)	98.8	99.8	一般財源	136,444,089	124,864,480	
80%以下の理由	その他の内訳(25年度) 東部給食センター調理研修室使用料 5,000円 講座受講料 24,150円 学校給食用牛乳供給事業補助金 17,549円 廃食油売却収入 8,800円 学校給食保護者負担金 191,417,522円					
事業コスト	事業費	人件費(7.80人役)	計			
決算額	327,917千円	57,010千円	384,927千円			
市民1人当たり(40,354人)	8,126円	1,413円	9,539円			
事業の目的および内容						
子どもたちにバランスの取れた安全で安心な学校給食を提供するため、適正な施設の維持管理および業務の運営を行います。						
事業の実績						
学校および園に安心安全な給食を提供するため、給食センターの適正な管理運営と、食材に地場産物を積極的に取り入れるよう努めました。地場産物活用率目標(食育計画32.0%) 学校給食衛生管理基準により、衛生面の充実を図るとともに、厨房・機械設備の維持点検を行いました。調理実習や研修事業を展開し、食育の推進に努めました。						
(1)給食提供数(職員を含む。) 平成26年3月現在						
区分	東部給食センター		西部給食センター		計	
	校園数	食数	校園数	食数	校園数	食数
幼稚園	4	490食	1	96食	5	586食
小学校	6	1,343食	3	1,117食	9	2,460食
中学校	5	786食	2	586食	7	1,372食
合計	15	2,619食	6	1,799食	21	4,418食
(2)給食回数と主食の内容						
項目	東部給食センター		西部給食センター			
米飯給食	154	回	154	回		
パン給食	22	回	22	回		
麺給食	18	回	18	回		
合計	194	回	194	回		
(3)東部給食センターにおける食育推進事業						
①市民を対象とした親子料理教室を調理研修室で4回開催しました(参加者158人)。						
②小学校の親子活動としての料理教室や中学校の家庭科料理実習、校外活動としての施設見学および各種団体の研修会等として、調理研修室の利用が508人ありました。						
③毎月学年別にテーマを決め、栄養士が各学校へ出向き食に関する指導を実施しました。						

事業の実績

(4)特色ある給食

項目	東部給食センター	西部給食センター	計
バイキング給食	4回(中3)	2回(中3)	6回(中3)
お鍋給食	10回(小6)	6回(小6)	16回(小6)
季節の行事食	月1回	月1回	月1回
お誕生日給食			
カミカミメニュー			
日本食生活の日			
セレクト給食	1回(全校)	1回(全校)	1回(全校)
郷土料理	随時	随時	随時
地元食材の使用			
食べ物の旅給食	月1回	月1回	月1回
賄材料費	112,740,190円	80,159,601円	192,899,791円

(5)衛生管理

学校給食衛生管理基準に基づき、職員の検便検査(月2回)、ノロウイルス検便検査(年1回)、食材検査、施設定期検査およびふき取り検査(学期ごと)を行いました。

東部給食センター 790,174円
西部給食センター 591,078円

(6)施設・厨房機器の管理

施設の設備保守点検や厨房機器、設備等の修繕を実施し、機能の維持に努めました。

①施設・設備等の修理費

東部給食センター 2,024,696円
西部給食センター 1,982,694円

②主な施設等維持管理業務

項目	東部給食センター	西部給食センター
衛生害虫防除業務	11回	11回
警備保障業務	年間	年間
自家用電気工作物保守点検	1回/月	1回/月
消防設備保守点検	2回/年間	2回/年間
厨房除害施設保守点検	1回/月	1回/月
業務委託料	3,553,037円	2,880,045円

(7)野菜収穫体験

学校給食に食材として使用している地場産物(野菜)の収穫体験をJAレーク伊吹の協力により実施しました。

①じゃがいも収穫体験 ・米原小学校2年生、62人 ・米原市飯地先のほ場にて
出前授業 平成25年11月8日(金) じゃがいもについて(じゃがいもができるまで等の学習)
収穫体験 平成25年11月14日(水) じゃがいもを収穫して学習したことを確認する

②ブロッコリー収穫体験 ・山東小学校3年生、31人 ・米原市志賀谷地先のほ場にて
出前授業 平成25年11月19日(火) ブロッコリーについて(ブロッコリーができるまで等の学習)
収穫体験 平成25年11月21日(木) ブロッコリーの収穫方法、規格に合ったサイズの選び方の学習

(8)給食センター施設整備事業

①東部給食センターの給食配送車1台を更新購入しました。 購入費 5,911,500円
伊吹地域への配送車を更新して配送計画に基づき、学校・園への給食が安全に配送できました。

②西部給食センター内のトイレ手洗い装置新設工事、調理場内手洗い温水器設置工事を実施しました。
トイレの手洗い装置の新設、調理場内手洗いの温水化により衛生管理を徹底しました。
工事費 1,097,250円

評価の内容

評価

- (1)給食メニューの多様化を図るため、月ごとに各県の特色ある料理を給食に取り入れ、市内の行事に合わせた給食やバイキング給食を実施するなど、児童生徒に食への関心を高めることができました。
- (2)給食の食材については、安心な地場産物を積極的に取り入れ、地場産物活用率は県平均25.6%を上回る31.9%となりました。
- (3)東部給食センターの調理研修室では、地域のサロン活動の一環として施設見学や試食を体験されたり、親子活動として料理教室を開催し、利用促進を図りました。また、毎月広報にバランスの取れた食事として給食レシピを掲載し広く市民に紹介しました。
- (4)施設の適切な維持管理と徹底した衛生管理により、遅配なく安全な給食を子どもたちに届けることができました。
- (5)毎月の食に関する指導、出前授業、収穫体験等を通して食への関心を高めることができました。

C

事業番号	10				
款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育振興費
事業名	継続 事務局教育振興事業	主管課			教育委員会 学校教育課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りと生きがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
	単位施策	「生きる力」を育む教育の充実			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	12,446,000	8,920,000	国費	0	0
うち繰越	0	0	県費	61,000	2,558,600
決算額	10,132,313	8,158,930	市債	0	0
うち繰越	0	0	その他	0	0
執行率(%)	81.4	91.5	一般財源	10,071,313	5,600,330
80%以下の理由	その他の内訳(25年度)				
事業コスト	事業費	人件費(1.10人役)	計		
決算額	10,132千円	8,040千円	18,172千円		
市民1人当たり(40,354人)	251円	199円	450円		
児童生徒1人当たり(3,499人)	2,896円	2,298円	5,194円		
事業の目的および内容					
<p>(1)特色ある学校づくり事業を進め、地域に根ざした学校づくりを進めます。</p> <p>(2)いじめの防止、早期解決のための体制を強化するために、いじめ等対応支援員を配置し、米原ストップいじめプロジェクトを実施します。</p> <p>(3)就学指導委員会を設け、障がいのある幼児・児童・生徒の適切な就学先等の協議を行います。</p> <p>(4)通常学級在籍の障がいのある児童に対して、週1～2時間程度指導を行う通級指導教室を開催し、個々の児童の課題に応じた指導を行います。</p> <p>(5)特別支援教育総合推進事業を実施し、相談員が市内保育所、幼稚園、小中学校を巡回し障がいのある幼児・児童・生徒への指導方法など個別支援の助言・相談等を行います。また、教員志望の学生を配置し支援を行います。</p> <p>(6)正規の免許教科の教員が不足している中学校へ専門教科を指導する非常勤講師を派遣し、充実した学習指導の実施に努めます。</p> <p>(7)伊吹山へ登ろう事業補助や森林環境学習「やまのこ」事業補助などを行い、体験活動の充実に努めます。</p>					
事業の実績					
<p>(1)特色ある学校づくり事業 地域の人材や資源を活用するなど、地域に根ざした特色ある学校づくり事業を、小学校2校、中学校3校で実施しました。 特色ある学校づくり事業 1,044,000円</p> <p>(2)いじめ対策関係事業 いじめ等対応支援員を設置し、米原ストップいじめプロジェクトを開催することによって、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めました。 いじめ等対応支援員設置 506,950円</p> <p>(3)就学指導委員会(6回) 医師や教育関係者20人が委員となる就学指導委員会を開催し、障がいのある62人の幼児、児童、生徒について調査、審議を行い適切な就学先等について答申を出しました。 委員報酬 12,000円</p> <p>(4)通級指導教室(かしわばら教室・まいばら教室) 対象児童延べ49人が週1日程度の指導を受けました。そのほか、発達検査や教育相談を実施し、個々の児童の課題に応じた指導を行いました。 通級指導教室 313,940円</p>					

事業番号		11				
款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育振興費	
事業名	継続	教育センター事業			主管課	教育委員会 学校教育課
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りと生きがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
		基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
		単位施策	「生きる力」を育む教育の充実			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度	
予算額	2,611,000	2,284,000	国 費	0	0	
うち繰越	0	0	県 費	0	0	
決算額	2,044,829	2,015,586	市 債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	0	0	
執行率（％）	78.3	88.2	一般財源	2,044,829	2,015,586	
80%以下の理由			その他の内訳（25年度）			
広報誌の印刷製本費が見積入札の結果、安価となったため。						
事業コスト		事業費	人件費（1.65人役）	計		
決算額		2,045 千円	12,060 千円	14,105 千円		
市民1人当たり（40,354人）		51 円	299 円	350 円		
児童生徒1人当たり（3,499人）		584 円	3,447 円	4,031 円		
事業の目的および内容						
<p>(1)市内の幼稚園、保育所、小中学校の教職員を対象にした研修を実施するなど教師力の向上を目指した支援体制を推進します。</p> <p>(2)小中学校の児童生徒の学力状況調査や、基礎的な学力の定着を目指した指導法の工夫改善、外国語活動や情報教育に関わる調査研究を行います。</p>						
事業の実績						
<p>(1)市内の幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校の教師を対象に、若手職員研修、組織リーダー研修、教頭研修、全員研修などの研修を年5回、特別支援教育講座、教育法規講座、授業力アップ講座、地域探訪講座、就学前講座などを年12回実施しました。</p> <p>教育センターおよび各部研修会講師謝礼 156,300円</p> <p>(2)小中学校の児童生徒の学力状況調査を5月に実施し、その分析結果を基に基礎的な学力の定着を目指して、指導法の工夫改善に関する実践研究を行いました。その成果を調査研究発表大会において発表し研究紀要にまとめました。</p> <p>調査研究発表大会：平成26年2月19日（ルッチプラザ） 参加人数：130人 研究紀要：180部作成</p> <p>学力状況調査業務委託料 915,620円</p> <p>(3)その他</p> <p>印刷製本費 321,793円 各種教育団体等負担金 496,181円</p>						
評価の内容					評価	
<p>(1)教師力の向上を目指して、市内幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校の教職員に各種研修・講座を開催し、今日的課題に応じた実践的な研修を行いました。</p> <p>(2)学力状況調査は、基礎的な学力の定着を目指すための基礎資料として活用することができました。</p> <p>(3)教職員の専門性、指導力の向上を目標に調査研究部会(3部会)を開催しました。部会では、学力向上に向けての授業改善、情報機器の効果的な活用、外国語活動の授業モデル開発に努めました。</p> <p>(4)教育研究奨励事業として研究論文(個人・グループ・校園研究)の応募が85点あり、自主的な教育研究への意識の高さが伺えました。</p>					C	


事業番号		12	
款	10 教育費	項	1 教育総務費
目	3 教育振興費		
事業名	継続	子どもサポートセンター事業	主管課
		教育委員会 学校教育課	
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りと生きがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち	
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる	
	単位施策	「生きる力」を育む教育の充実	
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)
予算額	25,726,000	25,966,000	国 費
うち繰越	0	0	県 費
決算額	25,263,111	25,293,147	市 債
うち繰越	0	0	その他
執行率(%)	98.2	97.4	一般財源
80%以下の理由	その他の内訳(25年度)		
事業コスト	事業費	人件費(1.50人役)	計
決算額	25,263 千円	10,963 千円	36,226 千円
市民1人当たり(40,354人)	626 円	272 円	898 円
対象者1人当たり(253人)	99,854 円	43,332 円	143,186 円
事業の目的および内容			
市内小中学校に子どもケアサポーターやスクーリングケアサポーターの配置、適応指導教室の開設、教育相談の充実により、発達障がい等、特別な支援が必要な児童生徒の心の安定を図るとともに、不登校児童・生徒の学校、学級復帰に向けた支援をします。			
事業の実績			
(1)教育支援員(子どもケアサポーター)14人を市内9小学校、6中学校に派遣しました。 2人のスクーリングケアサポーターを3小学校に年間221.5回(886時間)派遣しました。 ①特別な支援が必要な児童生徒209人にきめ細かな指導支援を行いました。 ②不登校傾向のある児童生徒に対して学力や生活力の向上に向けての支援を行いました。 賃金 23,739,598円 需用費 130,141円 役務費 22,378円			
(2)適応指導教室では、5人の入級児童生徒と1人の体験入級生徒を2人の指導員が週3回、年間120回の指導を行いました。2人が放課後登校できるようになりました。 賃金 1,253,400円 需用費 35,903円 役務費 30,471円			
(3)こころの教育相談事業では、市心理判定員職(臨床心理士)1人が4会場(セラピールーム：山東庁舎と3公民館)において、年間相談延べ回数321回、38件の児童生徒や保護者、関係する教職員の相談を受けました。			
平成25年度こころの教育相談件数			
主訴別	件	うち不登校	
性格	0	0	
行動	4	1	
いじめ	0	0	
集団不応	2	2	
教育・学力	1	0	
継続傾向	1	0	
夜尿・遺尿	0	0	
チック傾向	0	0	
強迫傾向	1	0	
心身症(等)	4	2	
その他の心理的問題	3	1	
保護者の養育不安(等)	5	2	
言語発達遅滞傾向	0	0	
発達遅滞傾向	0	0	
ASD傾向	10	3	
AD/HD傾向	7	0	
LD傾向	0	0	
その他の発達の問題	0	0	
計	38	11	
全体のうち 発達障がい関係	17		

【用語の定義】
ASD傾向(自閉症スペクトラム障害)
:アスペルガー・自閉症・広汎性発達障害等
AD/HD傾向(注意欠陥多動性障害):注意集中困難・多動
LD傾向(学習障害):特定の学習が苦手

評価の内容		評価
(1)特別な支援を必要とする児童生徒や不登校による別室登校の児童生徒への個別支援をすることにより、心の安定を図り学習課題に意欲を持って取り組む姿が見られるようになりました。 (2)不登校傾向の児童生徒の保護者と学校、子どもケアサポーター、スクーリングケアサポーター、適応指導教室指導員、心理判定員との連携や相談を密にすることにより、適応指導教室への通所や放課後登校等の成果が見られました。 (3)不登校、うつ状態等の様々な心配について相談対応し、引きこもりの改善、再登校、症状の緩和、保護者の安定といった成果が見られました。		B

事業番号		13				
款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育振興費	
事業名	新規	いきいきスクールサポーター派遣事業 (緊急雇用創出事業)			主管課	教育委員会 学校教育課
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りと生きがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
		基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
		単位施策	「生きる力」を育む教育の充実			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度	
予算額	5,379,000	0	国費	0	0	
うち繰越	0	0	県費	5,042,902	0	
決算額	5,042,902	0	市債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	0	0	
執行率(%)	93.8	0.0	一般財源	0	0	
80%以下の理由			その他の内訳(25年度)			
事業コスト		事業費	人件費(0.25人役)	計		
決算額		5,043 千円	1,827 千円	6,870 千円		
市民1人当たり(40,354人)		125 円	45 円	170 円		
児童生徒1人当たり(3,499人)		1,441 円	522 円	1,963 円		
事業の目的および内容						
障がいのある児童・生徒への指導を充実するため、日常生活の補助や学習に対する支援を行います。						
事業の実績						
障がいのある児童・生徒の指導・支援に対応するため、特別支援学級を中心に3人の支援員を配置しました。						
①活動内容 食事、衣服の着脱、教室間移動といった学校における日常生活上の支援や、学習障がいのある児童・生徒に対する学習支援、注意欠陥・多動性障がいのある児童・生徒に対する安全を確保しました。 週5日の勤務で、柏原小学校、河南小学校、坂田小学校の特別支援教室、大原小学校、米原小学校の通常教室へ派遣を行い、原則1対1の対応で児童の支援を行いました。						
特別支援学級活動支援員賃金 5,042,902円						
評価の内容					評価	
市内5小学校に週5日間派遣し、個別対応の必要な児童の生活への支援や学習支援をすることで、情緒の安定や学習意欲の向上に成果が見られました。					B	

事業番号		14			
款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費
事業名	継続 小学校管理運営事業	主管課			教育委員会 学校教育課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りと生きがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	69,882,000	72,918,000	国費	0	0
うち繰越	0	0	県費	0	0
決算額	65,151,397	68,741,192	市債	0	0
うち繰越	0	0	その他	1,076,820	1,222,540
執行率(%)	93.2	94.3	一般財源	64,074,577	67,518,652
80%以下の理由			その他の内訳(25年度) 小学校共済掛金保護者負担金 978,420円 小学校施設使用料 98,400円		
事業コスト		事業費	人件費(0.35人役)	計	
決算額		65,151千円	2,558千円	67,709千円	
市民1人当たり(40,354人)		1,614円	63円	1,677円	
児童1人当たり(2,261人)		28,815円	1,131円	29,946円	
事業の目的および内容					
<p>(1)市内9小学校の児童が安全・安心で質の高い教育を受けられるよう、適切に学校管理を行うとともに、子どもたちが健やかに学校生活を過ごせるように児童、教職員の健康管理を行います。</p> <p>(2)校長は学校評議員からの意見を参考にして、教育方針や教育計画を立て、地域に根ざした特色ある学校づくりを進めます。</p>					
事業の実績 ※小学校児童数 2,261人(平成25年5月1日現在・・・学校基本調査基準日)					
<p>(1)一般管理 小学校の児童が安全・安心で質の高い教育を受け入れられるよう、適切に学校管理を行いました。</p> <p>①学校評議員報酬(45人) 440,000円 ②光熱水費 28,923,923円 ③通信運搬費 2,723,651円 ④葉刈り、剪定、雪つりなどの委託料 532,100円 ⑤事務機器使用料 1,306,890円 ⑥学校用務員賃金 10,629,398円 (柏原小、山東小、大原小、伊吹小、春照小、米原小、河南小、息長小に配置)</p> <p>(2)健康管理 小学校の児童が健やかに学校生活を過ごせるように児童、教職員の健康管理を行いました。</p> <p>①児童・教職員健康診断業務委託 3,173,835円 ②校医、歯科医、薬剤師報酬 3,553,965円 ③日本スポーツ振興センター共済掛金 2,126,635円 ④結核、心臓検診 101,570円 ⑤飲料水検査(年1回) 53,970円</p>					
評価の内容					評価
<p>(1)各学校が、授業参観や懇談会、評議員会の開催などの取組により保護者や地域の方に学校への理解を深めていただく機会を設けるとともに学校評議員からいただいた意見を大切に、それぞれの地域に根ざした学校づくりに努めることができました。</p> <p>(2)学校評議員研修会を開き、特色ある学校づくり事業の紹介、全国学力学習状況調査の結果分析の発表、学校と家庭・地域との連携に関わってのグループ協議等を行いました。</p> <p>(3)施設、設備の適切な管理運営にそれぞれの学校が努めました。また、子どもたちの健やかな学校生活の基礎となる健康診断を児童、教職員に実施し、健康管理に努めることができました。</p>					C

事業番号		15			
款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費
事業名	継続 小学校教育振興事業	主管課			教育委員会 学校教育課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りと生きがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
	単位施策	「生きる力」を育む教育の充実			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度
予算額	43,077,000	39,609,000	国 費	4,200,000	374,000
うち繰越	0	0	県 費	0	0
決算額	41,833,240	37,761,690	市 債	0	0
うち繰越	0	0	その他	0	0
執行率（％）	97.1	95.3	一般財源	37,633,240	37,387,690
80%以下の理由	その他の内訳（25年度）				
事業コスト		事業費	人件費（0.90人役）	計	
決算額		41,833 千円	6,578 千円	48,411 千円	
市民1人当たり（40,354人）		1,037 円	163 円	1,200 円	
児童1人当たり（2,261人）		18,502 円	2,909 円	21,411 円	
事業の目的および内容					
<p>(1)市内9小学校の児童に対して、教育活動や修学旅行、校外活動などの体験活動、国際理解協力員による国際理解教育の充実を図り、「生きる力」の育成に努めます。</p> <p>(2)より良い学習環境を整えるため、教材の整備に努めます。</p>					
事業の実績					
<p>(1)教育活動を充実するために必要な経費の支出や修学旅行、校外活動に対する補助を行い、教育の振興に努めました。</p> <p>修学旅行、校外活動補助金 1,881,850円</p>					
<p>(2)市内の小学校に国際理解教育協力員(4人)を配置し、外国の言語や文化に関心が持てるような学習活動を展開するなど、国際理解教育の推進を図りました。</p> <p>国際理解教育推進事業 17,724,889円</p>		▲校外活動の様子			
<p>(3)より良い学習環境を整えるため教材備品を購入しました。国庫補助を受け理科備品の充実を図りました。</p> <p>理科教材備品 8,400,000円（国庫補助対象事業）</p> <p>教育振興備品 1,757,226円</p>					
<p>(4)各小学校教育振興費</p> <p>校内研究会、総合学習、スキー教室など講師謝礼 267,000円</p> <p>消耗品費 9,997,703円</p> <p>バス借上料、土地借上料 289,850円</p> <p>児童用図書 1,490,013円</p>					
評価の内容					評価
<p>(1)教育活動を充実するために必要な経費の支出や補助を行うことで、教育目標の実現に向けて充実した取組を展開することができました。</p> <p>(2)国際理解教育協力員により、5年生・6年生の外国語活動に加え、1年生から4年生までの外国語活動を行い、児童の外国語や異文化に対する理解を深めることができました。</p>					C

事業番号	16				
款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費
事業名	継続 中学校管理運営事業				主管課 教育委員会 学校教育課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りと生きがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	52,964,000	51,007,000	国費	0	0
うち繰越	0	0	県費	0	0
決算額	49,568,596	47,983,384	市債	0	0
うち繰越	0	0	その他	1,345,850	1,444,680
執行率(%)	93.6	94.1	一般財源	48,222,746	46,538,704
80%以下の理由			その他の内訳(25年度) 中学校共済掛金保護者負担金 531,300円 中学校施設利用料 814,550円		
事業コスト	事業費	人件費(0.35人役)	計		
決算額	49,569千円	2,558千円	52,127千円		
市民1人当たり(40,354人)	1,228円	63円	1,291円		
生徒1人当たり(1,238人)	40,040円	2,066円	42,106円		
事業の目的および内容					
<p>(1)市内7中学校の生徒が安全安心で質の高い教育が受けられるよう、適切に学校管理を行うとともに、子どもたちが健やかに学校生活を過ごせるよう生徒・教職員の健康管理を行います。</p> <p>(2)校長は学校評議員からの意見や意向を参考にして、教育方針や教育計画を立て、地域に根ざした特色ある学校づくりを進めます。</p>					
事業の実績 ※中学校生徒数 1,238人(平成25年5月1日現在・・・学校基本調査基準日)					
(1)一般管理 中学校の生徒が安全・安心で質の高い教育を受け入れられるよう、適切に学校管理を行いました。					
学校評議員報酬(32人) 320,000円					
光熱水費 21,464,783円					
通信運搬費 2,191,555円					
葉刈り、剪定などの委託料 455,212円					
事務機器使用料 1,155,433円					
学校用務員賃金 5,336,599円 (柏原中、東草野中、伊吹山中、河南中、双葉中に配置)					
臨時事務職員賃金(東草野中に配置) 1,666,800円					
(2)健康管理 中学校の生徒が健やかに学校生活を過ごせるように生徒、教職員の健康管理を行いました。					
生徒・教職員健康診断業務委託 3,252,585円					
校医、歯科医、薬剤師報酬 2,226,875円					
日本スポーツ振興センター共済掛金 1,163,985円					
結核、心臓検診 120,230円					
飲料水検査(年1回) 41,160円					
評価の内容					評価
<p>(1)各学校が、授業参観や懇談会、評議員会の開催などの取組により保護者や地域の方に学校への理解を深めていただく機会を設けるとともに、学校評議員からいただいた意見を大切に、それぞれの地域に根ざした学校づくりに努めることができました。</p> <p>(2)学校評議員研修会を開き、特色ある学校づくり事業の紹介、全国学力学習状況調査の結果分析の発表、学校と家庭・地域との連携に関わってのグループ協議等を行いました。</p> <p>(3)施設、整備の適切な管理運営にそれぞれの学校が努めました。また、子どもたちの健やかな学校生活の基礎となる健康診断を生徒、教職員に実施し、健康管理に努めることができました。</p>					C

事業番号	17				
款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
事業名	継続 中学校教育振興事業				主管課 教育委員会 学校教育課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りと生きがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
	単位施策	「生きる力」を育む教育の充実			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	41,298,000	44,593,000	国費	3,425,000	257,000
うち繰越	0	0	県費	617,000	601,000
決算額	39,482,074	42,718,569	市債	0	0
うち繰越	0	0	その他	11,043,000	11,464,000
執行率(%)	95.6	95.8	一般財源	24,397,074	30,396,569
80%以下の理由	その他の内訳(25年度) 滋賀県市町村振興協会市町交付金 11,043,000円				
事業コスト	事業費	人件費(1.45人役)	計		
決算額	39,482千円	10,598千円	50,080千円		
市民1人当たり(40,354人)	978円	263円	1,241円		
生徒1人当たり(1,238人)	31,892円	8,561円	40,453円		
事業の目的および内容					
(1)市内7中学校の生徒に対して、教育活動や修学旅行、校外活動等の体験活動、部活動の公式大会参加に対して補助を行い、「生きる力」の育成に努めます。 (2)より良い学習環境を整えるため、教材の整備に努めます。					
事業の実績					
<p>(1)教育活動や体験活動を充実するために必要な経費の支出や修学旅行、校外活動および部活動の公式大会に対する補助を行い、教育の振興に努めました。 修学旅行、校外活動補助金、生徒派遣補助金 4,582,120円</p> <p>(2)市内の中学校に外国語指導助手(4人)を配置し、外国の言語や文化に関心が持てるような学習活動開するなど英語学習の推進を図りました。 外国語指導助手配置事業 16,666,250円 ※滋賀県市町村振興協会市町交付金充当</p>			 <p>▲東草野中学校運動会</p>		
<p>(3)より良い学習環境を整えるため教材備品を購入しました。 国庫補助を受け理科備品の充実を図りました。 理科教材備品 6,850,000円 (国庫補助対象事業) 教育振興備品 630,435円</p> <p>(4)各中学校教育振興費 総合学習、校内研究会など講師謝礼 160,000円 消耗品費 7,886,863円 生徒用図書 1,298,542円</p> <p>(5)その他主な経費 教育総合推進実践活動事業委託 230,000円 (地域ぐるみ人権教育推進 米原・河南学区) 中学2年生職場体験活動キャリア教育経費 674,319円 ※自治振興交付金 387,000円を充当</p>					
評価の内容					評価
<p>(1)教育活動を充実するための必要な経費の支出や補助を行うことで、教育目標の実現に向けて充実した取組を展開することができました。 (2)外国語指導助手により、生徒の外国語や異文化に対する理解を深めることができました。</p>					C


事業番号		18			
款	10 教育費	項	5 社会教育費		
		目	1 社会教育総務費		
事業名	継続	生涯学習のまちづくり事業			
		主管課	教育委員会 生涯学習課		
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち		
		基本施策	人生を豊かにする学びを活かせるまちをつくる		
		単位施策	学びを活用できる環境づくりの推進		
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度
予算額	12,524,000	15,475,000	国 費	0	0
うち繰越	0	0	県 費	0	0
決算額	12,243,432	14,562,326	市 債	0	0
うち繰越	0	0	その他	1,020,602	1,108,693
執行率（％）	97.8	94.1	一般財源	11,222,830	13,453,633
80%以下の理由			その他の内訳（25年度） 生涯学習センター管理費用負担金 1,020,602円		
事業コスト		事業費	人件費（0.65人役）	計	
決算額		12,243千円	4,751千円	16,994千円	
市民1人当たり（40,354人）		303円	118円	421円	
事業の目的および内容					
<p>(1)市民の生涯学習活動を支援するとともに、学んだ成果を生かして様々な地域課題の解決や豊かなまちづくりに取り組んでいただくための支援に努めます。</p> <p>(2)市民の生涯学習活動施設である生涯学習センターの維持管理、利用者対応を行います。</p>					
事業の実績					
<p>(1)米原市女性の会活動事業補助 350,000円 子育て支援事業、男女共同参画社会づくり事業などに係る事業費の補助を行いました。</p> <p>(2)まなびサポーター事業 90,000円 学んだ成果を生かし、市民が指導者（支援者）としてまちづくりや人づくりに取り組んでいただく制度の運用を行いました。 登録総数 133人 利用実績 23回（前年度22回 対前年度比+4.5%）</p> <p>(3)大原生涯学習センター 維持管理および施設利用者対応業務を行いました。 利用件数：71件 利用人数：1,806人（前年度972人 対前年度比+85.8%）</p> <p>(4)山東生涯学習センター 指定管理者により、施設管理および各種の事業展開を行いました。 指定管理委託料 7,341,000円 指定管理者 タウンルッチ 利用件数：724件 利用人数：7,149人（前年度8,784人 対前年度比▲18.6%）</p> <p>(5)柏原生涯学習センター 指定管理者により、施設の管理および貸館を行いました。 指定管理委託料 2,207,000円 指定管理者 米原市柏原区 利用件数：278件 利用人数：6,158人（前年度6,469人 対前年度比▲4.8%）</p> <p>(6)音楽でまちづくり事業 402,954円 小学6年生の音楽のカリキュラムにある作詞・作曲の授業の手助けとして、地元の音楽活動に携わる方が講師となって、子どもたちの音楽教養のレベルアップを目指すために息長小学校で作詞・作曲教室を開催しました。</p>					
評価の内容				評価	
<p>(1)まなびサポーター事業を展開し、学びを通じた行政との協働のまちづくり、市民が学んだ成果を生かす 知の循環型学習環境整備に努めました。</p> <p>(2)生涯学習センターにおいては、地域住民の身近な学びの場、くつろぎの場として、学びの機会を提供 し、利用者に喜んでいただける事業を実施することができました。</p>				C	

事業番号	19					
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
事業名	継続	人権教育推進事業			主管課	教育委員会 生涯学習課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち				
	基本施策	一人ひとりが尊重され平和を大切にするまちをつくる				
	単位施策	多様な学習機会の充実				
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度	
予算額	1,692,000	1,658,000	国 費	0	0	
うち繰越	0	0	県 費	0	0	
決算額	1,412,558	1,495,919	市 債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	242,666	240,666	
執行率(%)	83.5	90.2	一般財源	1,169,892	1,255,253	
80%以下の理由			その他の内訳(25年度) 人権教育推進協議会等事業費助成金 242,666円			
事業コスト		事業費	人件費(1.50人役)	計		
決算額		1,413 千円	10,964 千円	12,377 千円		
市民1人当たり(40,354人)		35 円	272 円	307 円		
事業の目的および内容						
人権問題の早期解消とともに、人権が尊重されるまちづくりのため、地域ぐるみの教育啓発活動、人材育成活動を推進します。						
事業の実績						
(1)地域人権リーダー研修会 ①ハートフル・フォーラムの説明会を兼ねて平成25年度のテーマ「地域のつながり」に沿った内容の研修会を実施しました。 平成25年6月28日(日) 238人参加 平成25年度テーマに関するビデオ視聴 ハートフル・フォーラム事例発表						
(2)米原市人権教育推進協議会活動事業費補助および事業推進を行いました。 ①活動事業費に対する補助 1,340,419円 ②きらめき人権講座(4回シリーズ)の開催 「家庭・地域と人権」 白井俊一氏 平成25年7月18日(木) 米原公民館 66人参加 「自分の人権を守るために」 松村裕美氏 平成25年8月31日(土) 米原市人権総合センター 58人参加 「災害と人権侵害」 高野正巳氏 平成25年9月20日(金) 米原市人権総合センター 79人参加 人権らいぶ ～もう一人では泣かせない～ 上演 ルッチプラザ 93人参加 ③ハートフル・フォーラムの自治会での開催 基本テーマ 「地域のつながり」 ハートフル・フォーラムが各自治会で開催されました。 82自治会で開催(開催率 78.1%) 1,565人参加 ④人権を考えるつどい(人権政策課と共催) 「命について考える」 村上信夫氏、有馬理恵氏 平成25年11月10日(日) 米原公民館 500人参加						
評価の内容					評価	
(1)リーダー研修会や講座については、多くの方に参加していただくことができました。 (2)多くの自治会でハートフル・フォーラムを開催していただき、人権意識の向上を図ることができました。					C	

事業番号		20			
款	10 教育費	項	5 社会教育費		
目	1 社会教育総務費				
事業名	継続 地域人材育成事業	主管課	教育委員会 生涯学習課		
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	人生を豊かにする学びを活かせるまちをつくる			
	単位施策	学びの場づくりの推進			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度
予算額	1,061,000	1,098,000	国 費	0	0
うち繰越	0	0	県 費	0	0
決算額	749,495	892,256	市 債	0	0
うち繰越	0	0	その他	292,000	365,000
執行率（％）	70.6	81.3	一般財源	457,495	527,256
80%以下の理由	招へい講師にルッチ大学の運営趣旨を御理解いただき、講師料についての協力をお願いしたほか、経費節減に努めたため。		その他の内訳（25年度） 社会教育事業関係受講料 292,000円		
事業コスト		事業費	人件費（0.70人役）	計	
決算額		749 千円	5,116 千円	5,865 千円	
市民1人当たり（40,354人）		19 円	127 円	146 円	
学生1人当たり（40(平均)人）		18,725 円	127,900 円	146,625 円	
事業の目的および内容					
まちづくりリーダーの人材育成を図り、協働のまちづくりを推進するため、“個人の学習成果をまちづくりに生かす”をコンセプトとしたまちづくり市民大学「ルッチ大学」および「ルッチ大学院」を開講します。					
事業の実績					
(1)ルッチ大学6期生・大学院5期生ともに、平成25年9月末の卒業に向け、課題研究の報告書を制作 ①大学（6期生） コーディネーター役の講師を交え、これまでの講義で学んだ成果を実践につなげる事例研究（グループワーク）に取り組み、グループごとに地域課題の発見や地域資源の掘り起こし、それを解決・活用する方策や仕組みづくりについての研究を深めました。【学生35人 10回開講】 ②大学院（5期生） 大学の2年間で学んだ成果や実践経験に基づき、グループごとの研究をより深め、実践活動を行いました。【学生15人 8回開講】					
(2)ルッチ大学7期生およびルッチ大学院6期生のカリキュラムづくりと学生募集 8月から9月にかけて大学7期生と大学院6期生の学生募集を行いました。					
(3)ルッチ大学7期生および大学院6期生のカリキュラム（2年間）がスタート ①大学（7期生） カリキュラムに基づき、各分野から実践型の講師を招き、現代の社会問題や、地域課題等をテーマとした講義のほか、まちづくり実践現場における現地研修を行い、19人がそれぞれの学びをスタートしました。【学生19人 8回開講】 ②大学院（6期生） ゼミを中心とした講義で、大学の2年間で学んだ成果や実践経験に基づき、研究をより深めました。【学生10人 6回開講】					
評価の内容					評価
まちづくりリーダーの人材育成に向けて、大学および院生はグループごとに実践につなげる研究を深めることができ、平成25年9月には、大学生25人、大学院生8人が卒業しました。					C

事業番号		21			
款	10 教育費	項	5 社会教育費		
目	1 社会教育総務費				
事業名	継続	文化のまちづくり事業	主管課 教育委員会 生涯学習課		
総合計画上の位置づけ		政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち		
		基本施策	誰もが文化・芸術・スポーツを楽しみ健やかに暮らせるまちをつくる		
		単位施策	市民文化活動への支援		
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	3,441,000	3,341,000	国費	0	0
うち繰越	0	0	県費	0	0
決算額	3,300,959	3,217,127	市債	0	0
うち繰越	0	0	その他	123,000	112,500
執行率(%)	95.9	96.3	一般財源	3,177,959	3,104,627
80%以下の理由			その他の内訳(25年度) 市展出品参加料 123,000円		
事業コスト		事業費	人件費(0.70人役)	計	
決算額		3,301千円	5,116千円	8,417千円	
市民1人当たり(40,354人)		82円	127円	209円	
事業の目的および内容					
<p>(1)芸術を創造し、鑑賞する喜びを享受し、文化の薫り高いまちづくりを目指して、米原市芸術展覧会を開催します。</p> <p>(2)市民の芸術文化の振興を図るため、米原市文化協会の活動事業に対する支援を行います。</p>					
事業の実績					
<p>(1)米原市芸術展覧会の開催 889,260円</p> <p>①芸術展覧会運営委員会の開催</p> <p>②部門 美術部門(絵画、彫刻・工芸、書、写真)</p> <p>音楽部門(作詞作曲)</p> <p>③出品数 合計 331点</p> <p>④美術部門展覧会 平成25年10月12日(土)から10月20日(日)まで 会場 ルッチプラザ</p> <p>⑤音楽部門最終審査発表会および表彰式 平成25年12月1日(日) 会場 ルッチプラザ</p> <p>(2)米原市文化協会事業補助金 2,411,699円</p> <p>各地域の文化祭、部会交流事業、機関誌『天ノ川』の発行など、文化協会の活動に係る事業費の補助を行いました。</p>					
文化協会加盟クラブおよび会員数					
	クラブ	会員数			
山東支部	33	649人			
伊吹支部	21	249人			
米原支部	32	371人			
近江支部	18	168人			
合計	104	1,437人			
評価の内容					評価
<p>(1)行政と米原市芸術協会との一体的な運営により第8回米原市芸術展覧会を開催し、市内外から合計331点の出品がありました。</p> <p>(2)米原市文化協会に対する補助金支出を通じて、地域の公民館等を拠点として各支部が取り組んだ文化祭、旧町間の枠に縛られない部会間交流事業、機関誌『天ノ川』の発行など年間を通じて市民主体の文化活動が展開され、米原市の文化振興に資することができました。</p>					C

事業番号		22				
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
事業名	継続	伊吹薬草の里文化センター管理運営事業			主管課	教育委員会 生涯学習課
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
		基本施策	人生を豊かにする学びを活かせるまちをつくる			
		単位施策	学びの場づくりの推進			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度	
予算額	56,918,000	49,154,000	国 費	0	0	
うち繰越	0	0	県 費	0	0	
決算額	56,808,327	48,741,065	市 債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	0	0	
執行率（％）	99.8	99.2	一般財源	56,808,327	48,741,065	
80%以下の理由			その他の内訳（25年度）			
事業コスト		事業費	人件費（0.20人役）	計		
決算額		56,808 千円	1,462 千円	58,270 千円		
市民1人当たり（40,354人）		1,408 円	36 円	1,444 円		
事業の目的および内容						
<p>市民の生涯学習やサークル活動を支援するために、研修室、図書室、薬草風呂、薬草園、ジョイホールなどを備えた施設「伊吹薬草の里文化センター」の管理運営について、市民がより利用しやすい施設運営を目指し、指定管理者による施設の管理運営を行います。</p>						
事業の実績						
<p>(1)伊吹薬草の里文化センター</p> <p>①指定管理者により、施設の管理および各種事業の展開を行いました。</p> <p>指定管理料（現年分） 46,880,000円 指定管理料（過年度分） 7,385,000円 指定管理者：公益財団法人 伊吹山麓スポーツ文化振興事業団 利用人数：43,568人（前年度44,337人 対前年度比▲1.7%） 内 ホール：7,540人（前年度7,498人 対前年度比+0.6%） 図書室：6,608人（前年度5,678人 対前年度比+16.3%） 公民館講座：31種類 延べ87回開講 薬草・漢方講座、湖北”センゴク”セミナー、自然と歴史の遠足、おやこフィットネス ほか ホール事業：コンサート事業、子どもだけの映画会 ほか 薬草フェスタ、伊吹文化祭、子どもたちの文化祭、息吹の奏夏まつり、伊吹山音楽祭 ほか 薬草風呂、薬草園、いぶき図書室の管理運営 薬草風呂利用者：37,562人</p> <p>②施設設備の主な修繕および改修工事</p> <p>非常用自家発電設備修繕 459,900円 舞台吊物制御盤修繕 330,000円 舞台設備修繕 189,000円 引込開閉器盤修繕 181,650円 消防用設備点検結果による不良箇所の修繕 173,565円</p>						
評価の内容					評価	
<p>公民館をはじめ、ホール、薬草風呂、いぶき図書室、薬草園などを有した複合施設として、地域の特色を生かし、伊吹山や薬草の里にふさわしい事業を含め、子どもから高齢者まで誰もが参加しやすい幅広い事業を実施することができました。</p>					C	

事業番号		23			
款	10 教育費	項	5 社会教育費		
目	2 青少年育成費				
事業名	継続 成人式開催事業	主管課	教育委員会 生涯学習課		
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	人生を豊かにする学びを活かせるまちをつくる			
	単位施策	地域で学ぶ環境づくりの推進			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度
予算額	738,000	754,000	国 費	0	0
うち繰越	0	0	県 費	0	0
決算額	626,456	676,879	市 債	0	0
うち繰越	0	0	その他	0	0
執行率（％）	84.9	89.8	一般財源	626,456	676,879
80%以下の理由			その他の内訳（25年度）		
事業コスト		事業費	人件費（0.02人役）	計	
決算額		626 千円	146 千円	772 千円	
市民1人当たり（40,354人）		16 円	4 円	20 円	
対象者1人当たり（457人）		1,370 円	319 円	1,689 円	
事業の目的および内容					
新成人の明るい未来と今後の地域貢献を願い、誓い合う機会として成人式を開催します。					
事業の実績					
<p>◆成人式開催事業</p> <p>新成人を家族や恩師など関係者が一堂に会して祝福する場として、また今後の人生への希望や決意とともに、郷土愛や社会貢献について認識してもらう場として、成人式を開催しました。</p> <p>新成人者の有志により実行委員会を組織し、企画運営を行いました。</p> <p>実行委員会の開催 3回開催 成人式の開催 平成26年1月12日（日） 県立文化産業交流会館</p> <p>対象者数 457人（前年度468人 対前年度比▲2.4%） 参加者数 367人（前年度409人 対前年度比▲10.3%） 参加率 80.3%（前年度87.4% 対前年度比▲8.1%）</p>					
<p>式典内容</p> <ol style="list-style-type: none"> オープニングアトラクション 市長式辞 来賓祝辞 二十歳のメッセージ（新成人代表） 思い出のアルバム上映 記念写真撮影 交歓会 					
評価の内容				評価	
新成人者の有志による実行委員会での成人式の企画を行い、当日も実行委員が主になって成人式を開催しました。				C	

事業番号		24				
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	3 公民館費	
事業名	継続	公民館管理運営事業			主管課	教育委員会 生涯学習課
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
		基本施策	人生を豊かにする学びを活かせるまちをつくる			
		単位施策	地域で学ぶ環境づくりの推進			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度	
予算額	91,835,000	86,369,000	国費	0	0	
うち繰越	0	0	県費	0	0	
決算額	89,347,942	85,516,625	市債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	0	0	
執行率(%)	97.3	99.0	一般財源	89,347,942	85,516,625	
80%以下の理由			その他の内訳(25年度)			
事業コスト		事業費	人件費(0.40人役)	計		
決算額		89,348千円	2,924千円	92,272千円		
市民1人当たり(40,354人)		2,214円	72円	2,286円		
事業の目的および内容						
<p>(1)公民館では、地域住民の身近な学びの場として、生涯を通じて学ぶ意欲を持ち、生きがいと潤いのある暮らしを送っていただくために各種事業を行い、地域の活性化を図っています。</p> <p>(2)指定管理者制度を導入し、地域性を生かした使いやすい施設とするため、地域に密着した団体に管理運営を委託します。</p>						
事業の実績						
<p>(1)指定管理者により、各施設の管理および各種事業の展開を行いました。</p> <p>①山東公民館 指定管理委託料：26,758,000円 指定管理者：NPO法人カモンスポーツクラブ 利用人数：22,453人(前年度21,639人 対前年度比+3.8%) 講座：16種類 延べ140回開講 事業：公民館まつり、戦国山城ウォーク、パソコン講座、通学合宿 ほか 【成果】子どもから高齢者まで対象にした参加しやすい様々な公民館講座を開講し、また、公民館利用団体の学習の成果発表の場を設けるなど、地域学習の交流拠点となる幅広い事業展開ができました。</p> <p>②米原公民館 指定管理委託料 26,238,000円 指定管理者：NPO法人 FIELD 利用人数：50,006人(前年度58,029人 対前年度比▲13.8%) 講座：19種類 延べ137回開講 事業：わくわくランド、公民館まつり、親子防災安全教室、ニットカフェ ほか 【成果】公民館講座についても他の公民館と情報交換を行い、実施事業を参考にしながら必要課題の事業を含めた新しい講座を開催することができました。</p> <p>③近江公民館 指定管理委託料 30,775,000円 指定管理者：NPO法人 おうみ地域人権・文化・スポーツ振興会 利用人数：26,811人(前年度27,694人 対前年度比▲3.2%) 講座：12種類 延べ204回開講 事業：おうみわんぱく笑学公、防災サバイバルキャンプ、民泊体験 ほか 【成果】子どもを中心とした事業や伝統文化の継承など地域に根ざした特色のある事業を展開し、また利用者の要望に応える講座を随時開催するなど柔軟な公民館の運営がされました。</p> <p>(2)施設設備修繕 477,750円 施設や設備等の不具合箇所を修繕し、利用しやすい施設としました。 山東公民館 自家発電用鉛蓄電池交換 216,300円 近江公民館 非常階段、給湯器配管 193,200円</p> <p>(3)施設改修工事 3,658,127円 施設の改修工事を行いました。 山東公民館 空調設備改修工事 668,777円 山東公民館 屋内消火栓改修工事 2,243,850円 近江公民館 舞台吊物設備改修工事 745,500円</p> <p>(4)特殊建築物定期調査 1,208,000円 施設の構造および建築設備を適法な状態に維持するために、建築基準法で定められた調査を行いました。 山東公民館 233,000円 米原公民館 782,000円 近江公民館 193,000円</p>						
評価の内容					評価	
<p>(1)地域住民の身近な学びの場、くつろぎの場として、学びの機会を提供し、利用者に喜んでいただける事業を実施することができました。</p> <p>(2)指定管理者による施設管理運営により、効率的で効果的な運営ができました。</p>					C	

事業番号		25			
款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	2 体育施設費
事業名	継続 体育施設管理経費	主管課			教育委員会 生涯学習課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	誰もが文化・芸術・スポーツを楽しみ健やかに暮らせるまちをつくる			
	単位施策	スポーツ環境の整備			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	81,441,000	44,977,000	国 費	8,000,000	0
うち繰越	0	0	県 費	0	0
決算額	80,568,508	44,717,364	市 債	0	0
うち繰越	0	0	その他	11,825,380	143,390
執行率(%)	98.9	99.4	一般財源	60,743,128	44,573,974
80%以下の理由	その他の内訳(25年度) 教育財産使用料(伊吹、山東B&G) 4,080円 体育施設使用料(ウッドピア) 21,300円 B&G財団助成金 11,800,000円				
事業コスト		事業費	人件費(0.78人役)	計	
決算額		80,569 千円	5,701 千円	86,270 千円	
市民1人当たり(40,354人)		1,997 円	141 円	2,138 円	
事業の目的および内容					
(1)市民の心身の健全な発達と文化、体育、スポーツの普及および振興を図るため、市内体育施設において、市民が身近で気軽にスポーツに親しむことができる場を提供します。 (2)市民が安全で安心して利用できるよう市内体育施設の修繕を行います。					
事業の実績					
(1)指定管理者に社会体育施設の管理運営を委託しました。					
①市民体育館、山東グラウンド：NPO法人カモンスポーツクラブ 3,035,000 円					
体育館 12,277人(H24 11,413人 対前年度比+7.6%)					
グラウンド 14,387人(H24 14,285人 対前年度比+0.7%)					
②伊吹第1、第2グラウンド：(公財)伊吹山麓スポーツ文化振興事業団 4,086,000 円					
第1 8,064人(H24 7,304人 対前年度比+10.4%)					
第2 11,733人(H24 10,473人 対前年度比+12.0%)					
③米原野球場、すぱーく米原：NPO法人MOSスポーツクラブ 4,961,000 円					
野球場 2,410人(H24 3,448人 対前年度比▲30.1%)					
すぱーく 8,733人(H24 8,950人 対前年度比▲2.4%)					
④近江グラウンド：NPO法人おうみ地域人権・文化・スポーツ振興会 3,526,000 円					
グラウンド 5,328人(H24 10,845人 対前年度比▲50.9%)					
⑤山東B&G海洋センター：(株)スポーツプラザ報徳 14,832,000 円					
体育館 10,304人(H24 12,917人 対前年度比▲20.2%)					
プール 23,618人(H24 23,756人 対前年度比▲0.6%)					
⑥伊吹B&G海洋センター：(公財)伊吹山麓スポーツ文化振興事業団 7,870,000 円					
プール 4,565人(H24 4,194人 対前年度比+8.8%)					
⑦双葉総合体育館(H25.4月からオープン)：近江スポーツクラブ 11,089,000 円					
体育館 15,727人					
(2)社会体育施設を維持管理するため、必要な業務を行いました。					
①施設維持管理委託(河南中学校ナイター照明保安管理委託) 105,840 円					
②土地借上料(近江グラウンド) 1,200,000 円					
③光熱水費(河南中学校ナイター照明電気代) 886,278 円					
④その他(消耗品、燃料費、修繕料、保険料、賃借料、負担金等) 1,577,640 円					
(3)社会体育施設を安全で安心して利用できるよう、改修工事を行いました。					
①伊吹B&G海洋センタープール改修工事 20,605,200 円					
②近江グラウンドバックネット改修工事 6,794,550 円					
評価の内容					評価
(1)指定管理者により施設の適切な管理運営が行われ、市民の様々なスポーツの場の提供ができたことにより、市民相互の交流やスポーツ活動の拠点施設としての役割が果たせました。 (2)市内2か所の体育施設の修繕を行い、安全で安心して利用できるようになりました。					C

事業番号		26				
款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	2 体育施設費	
事業名	継続	体育施設整備事業			主管課	教育委員会 生涯学習課
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
		基本施策	誰もが文化・芸術・スポーツを楽しみ健やかに暮らせるまちをつくる			
		単位施策	スポーツ環境の整備			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度	
予算額	31,882,000	576,983,000	国 費	0	0	
うち繰越	0	0	県 費	0	0	
決算額	26,586,740	565,069,725	市 債	0	535,500,000	
うち繰越	0	0	その他	0	0	
執行率（％）	83.4	97.9	一般財源	26,586,740	29,569,725	
80%以下の理由			その他の内訳（25年度）			
事業コスト		事業費	人件費（0.35人役）	計		
決算額		26,587 千円	2,558 千円	29,145 千円		
市民1人当たり（40,354人）		659 円	63 円	722 円		
事業の目的および内容						
老朽化が著しい近江体育館を解体します。						
事業の実績						
(1)老朽化が著しい近江体育館の解体と、改修が必要な体育施設の改修を行いました。						
解体工事設計管理委託料				760,000 円		
近江体育館等解体工事				23,309,050 円		
その他体育施設改修工事（双葉総合体育館、山東グラウンド）				2,517,690 円		
【平成24年度と事業費が減少した理由】						
平成24年度に双葉総合体育館の建設を行ったため。（564,672千円）						
評価の内容					評価	
老朽化が著しい近江体育館を解体し、更地としました。また、不具合箇所の改修を行い、快適に利用できる体育施設となりました。					C	

事業番号		27			
款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	3 体育振興費
事業名	継続	生涯スポーツ推進体制整備事業		主管課	教育委員会 生涯学習課
総合計画上の 位置づけ		政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち		
		基本施策	誰もが文化・芸術・スポーツを楽しみ健やかに暮らせるまちをつくる		
		単位施策	スポーツ振興のための支援		
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	35,198,000	28,890,000	国費	0	0
うち繰越	0	0	県費	0	0
決算額	32,815,553	27,504,512	市債	0	0
うち繰越	0	0	その他	3,609,000	545,000
執行率(%)	93.2	95.2	一般財源	29,206,553	26,959,512
80%以下の理由			その他の内訳(25年度) スポーツ振興くじ(toto)助成金 3,609,000円		
事業コスト		事業費	人件費(3.22人役)	計	
決算額		32,816千円	23,535千円	56,351千円	
市民1人当たり(40,354人)		813円	583円	1,396円	
事業の目的および内容					
<p>(1)スポーツの振興を図るため、スポーツ推進委員による市民を対象としたニュースポーツの指導や地域でのスポーツ活動、出前講座の実施により健康増進を図ります。</p> <p>(2)幅広い世代の市民が、いつでもどこでもスポーツに親しむことのできる「生涯スポーツ社会」の実現を目指し、総合型地域スポーツクラブや体育協会をはじめとする各種団体が開催する健康、体力づくりの活動やスポーツイベントへ支援を行います。</p> <p>(3)スポーツ基本法に基づく米原市のスポーツの在り方や方向性、各種団体の役割について協議し、スポーツ推進計画を策定します。</p>					
事業の実績					
<p>(1)スポーツ推進委員を平成24年4月から2年任期で委嘱し、地域でのスポーツ活動や各種スポーツイベントで中心的な役割を担っていただきました。 1,102,000円</p> <p>スポーツ推進委員報酬(委員数:30人)</p> <p>①お気軽スポーツ体験(ニュースポーツ)4地区 総参加者135人</p> <p>②出前講座(ニュースポーツ体験)年間9回実施 総参加者678人</p> <p>③夢高原かっつび伊吹のコース確認、各業務の運営、前日準備等</p> <p>④いきいき健康ウォークの企画、運営、参加者187人</p>					
<p>(2)スポーツ振興を図るため、各スポーツ団体に補助金を交付し支援を行いました。</p> <p>①市体育協会(加盟団体数:18団体)市民大会13競技、参加者1,303人 3,188,579円</p> <p>②市スポーツ少年団(加盟団体数:22団体)本部主催5事業、参加者447人 2,978,014円</p> <p>③総合型地域スポーツクラブ(4地域:4クラブ) 1,891,000円</p> <p>いぶきスポーツクラブ 485事業、総参加者 5,614人</p> <p>カモンスポーツクラブ 485事業、総参加者 6,949人</p> <p>MOSスポーツクラブ 378事業、総参加者 2,888人</p> <p>近江スポーツクラブ 321事業、総参加者 4,418人</p> <p>④(公財)伊吹山麓スポーツ文化振興事業団 15,260,000円</p> <p>142事業、総参加者 2,594人</p>					
<p>(3)「希望と元気あふれるスポーツコミュニティまいばら」を10年後の目指す将来像として、米原市スポーツ推進計画を策定しました。 4,194,750円</p> <p>米原市スポーツ推進審議会 6回開催</p>					
<p>(4)幼児を対象にした運動遊びや高齢者の健康教室においてスポーツアドバイザーによる指導、助言を行いました。</p> <p>健康教室等への派遣(72回、498人)</p> <p>児童クラブ等への派遣(55回、1,161人)</p> <p>出前講座等への派遣(10回、631人)</p>					
<p>(5)全国大会などに出場する選手に対し、激励金を交付し活動を支援しました。 1,183,000円</p> <p>平成25年度実績 51件、277人</p>					

事業の実績

(6)市内スポーツイベントの開催を支援しました。	
西日本小学生中学生6人制ホッケー選手権大会 (小学生45チーム、中学生62チーム)	100,000 円
いきいき健康ウォーク2013 参加者187人	100,000 円
夢高原かつとび伊吹2013は悪天候により中止となりました。申込者は1,313人でした。	
(7)親子カヌー体験事業を米原市カヌー指導者会に委託しました。	116,030 円
①春の承水溝カヌー体験 平成25年4月14日(日) 参加者46人 指導者5人	
②びわこマリンフェスタin米原 平成25年9月15日(日)台風接近のため中止 申込者52人 指導者22人	
③紅葉の姉川親子でカヌー散歩 平成25年11月24日(日) ダム湖水位低下のため中止	
④市内各種団体のカヌー教室指導 実施団体：カモンスポーツクラブ、いぶきスポーツクラブ 米原地区体育振興会、SCプラザ 開催日：平成25年6月29日から平成25年10月5日までに11回開催 参加者：延243人、指導者：延57人	

評価の内容	評価
<p>(1)スポーツ推進委員による市民を対象としたニュースポーツの実技指導や出前講座での各種スポーツ指導などにより健康増進を図り、運動を通じて参加者のつながりや運動遊びの楽しさを知ってもらう機会となりました。</p> <p>(2)生涯スポーツ社会の実現を目指した総合型スポーツクラブや市体育協会をはじめとする各種団体が開催するスポーツ活動やスポーツイベントへの支援を行うことにより、幅広い世代の市民参加が得られました。</p> <p>(3)スポーツの持つ力を再認識し、スポーツによって、人と人、地域と地域がつながるまちを目指して「希望と元気あふれるスポーツコミュニティまいたら」を10年後の目指す将来像として米原市スポーツ推進計画を策定しました。今後は、計画に定めた基本方針、施策に基づいた事業展開を進めます。</p>	C

事業番号		28			
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	1 社会教育総務費
事業名	継続 文化芸術振興施設管理運営事業	主管課	教育委員会 市民交流プラザ		
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	誰もが文化・芸術・スポーツを楽しみ健やかに暮らせるまちをつくる			
	単位施策	文化芸術の振興			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	102,168,000	57,925,000	国 費	39,282,000	0
うち繰越	0	0	県 費	0	0
決算額	98,735,486	54,430,602	市 債	0	0
うち繰越	0	0	その他	10,359,153	10,561,396
執行率(%)	96.6	94.0	一般財源	49,094,333	43,869,206
80%以下の理由			その他の内訳(25年度)		
			施設等使用料	1,899,130円	
			ラウンジ共益費	17,100円	
			施設管理経費負担金	4,838,775円	
			自主事業入場料	3,196,615円	
			その他諸収入	407,533円	
事業コスト		事業費	人件費(2.50人役)	計	
決算額		98,735 千円	18,272 千円	117,007 千円	
市民1人当たり(40,354人)		2,447 円	453 円	2,900 円	
事業の目的および内容					
<p>(1)市民交流プラザ(ルッチプラザ)は市民の文化活動、生涯学習、健康福祉サービスを通じて様々な交流ができる市民協働活動の拠点施設としての機能の充実を目指し、自主事業および貸館業務の質的向上に努めます。</p> <p>(2)特にベルホール310は県内屈指の音楽専門ホールであり、文化情報の発信拠点として重要な地域資源であるという認識の下、地域の音楽文化の向上を目指し、プラスクリニック、ピアノコンクールや自主公演などを企画、実施します。</p> <p>(3)市民交流プラザの施設や設備の適切な維持管理に努め、経年劣化による駐車場屋根からの漏水対策などの改修や修繕を行い、利用者の利便性の向上を図ります。</p>					
事業の実績					
市民交流プラザ(ルッチプラザ)の管理運営および自主企画事業を実施しました。					
(1)管理運営					
①臨時職員賃金(3人分) 4,012,200 円					
②燃料費、光熱水費(電気、ガス、水道、下水道代) 23,260,293 円					
③委託料(清掃、機械設備保守点検、夜間管理代行) 11,255,645 円					
④委託料(公演委託料) 9,998,000 円					
⑤施設改修、修繕費 1,679,492 円					
⑥その他(印刷、通信運搬費、使用料、補助金など) 6,412,256 円					
(2)自主事業(公演事業)					
①年間19回の事業実施(前年度14回) 入場者数 4,497人(前年度2,983人 対前年度比+50.8%)					
②入場料収入 3,196,615円(前年度3,722,370円)					
No.	開催日	イベント名	入場者数(人)		
1	4/7(日)	第25回りれーピアノ発表会	89		
2	4/12(金)	映画「人生いろどり」上映会(3回上映)<共催>	330		
3	5/19(日)	ひこね第九オーケストラ音楽アンサンブル<共催>	115		
4	7/7(日)	コンサート「音楽のおくりもの」	304		
5	8/3(土)	じゃんぐるっち	約500		
6	8/4(日)	映画「じんじん」上映会(3回上映)<共催>	414		
7	8/18(日)	第26回りれーピアノ発表会	121		
8	8/20(火)21(水)	プラスクリニック	58		
9	8/22(木)	プラスクリニック&コンサート(成果発表)	195		
10	8/23(金)	ファーストクラシック	394		
11	10/25(金)	桂雀松改メ三代目桂文之助襲名記念公演<共催>	361		
12	10/27(日)	第3回ルッチプラザ・ピアノコンクール1次審査	68		
13	11/10(日)	ミュージカル「ゼロ弾きのゴージュ」	143		
14	11/23(土)	第3回ルッチプラザ・ピアノコンクール 本選	70		
15	12/7(土)	平居妙子リサイタル	147		
16	12/15(日)	手島葵コンサート	258		
17	1/19(日)	金子三勇士ピアノコンサート	197		
18	3/16(日)	三山ひろし&原田悠里スプリング・コンサート	364		
19	3/21(金)	やなせたかしシアター	369		

事業の実績

(3)貸館事業

H25年度ホール利用件数（貸館）120回、利用者数（貸館）13,689人
 （H24年度ホール利用件数（貸館）129回、利用者数（貸館）12,837人）、対前年度比+6.6%

(4)平成25年度ルッチプラザ・ベルホール310稼働率

	開館日数	ホール		スタジオを含む	
		稼働日数	稼働率	稼働日数	稼働率
4月	25	10	40.0%	10	40.0%
5月	27	10	37.0%	10	37.0%
6月	26	12	46.2%	19	73.1%
7月	26	10	38.5%	15	57.7%
8月	27	17	63.0%	11	40.7%
9月	25	6	24.0%	12	48.0%
10月	27	15	55.6%	14	51.9%
11月	26	12	46.2%	13	50.0%
12月	24	15	62.5%	11	45.8%
1月	24	8	33.3%	10	41.7%
2月	24	12	50.0%	11	45.8%
3月	26	10	38.5%	11	42.3%
合計	307	137	44.6%	147	47.9%
H24	308	143	46.4%	232	75.3%

(5)平成25年度ベルホール310サポーターミーティング活動実績

- ①自主事業公演の運営協力
- ②サポーター企画生バンドによるカラオケ大会の企画、実施
- ③「じゃんぐるっち」の企画運営協力。8月4日に全館タイアップの夏祭りイベントとして実施

(6)平成25年度ルッチガーデン活動実績

年間を通じた施設内外の植栽、観葉植物の管理

(7)「じゃんぐるっち」開催

複合施設であるルッチプラザの事業として夏祭り「じゃんぐるっち」を実施しました。警察や消防署の協力を得て地震体験や救急体験コーナーの設置をはじめ、子ども向けのゆるキャラショー、健康推進員の手作りスイーツ配布、映画上映、模擬店、デイサービスセンターのお楽しみコーナーや図書館のウォークラリーなど、全館を挙げてのイベントを開催しました。市内の親子を中心に、約500人が夏休みのひとときを過ごす場を持つことができました。



「じゃんぐるっち」開催の様子

(8)駐車場屋根漏水解消工事

北側駐車場において屋根から漏水があり、駐車に支障があったため、改修工事を実施しました。
 米原市民交流プラザ改修工事 36,678,600円

評価の内容	評価
(1)ホールの稼働率は、平成24年度に比べて減少しましたが、共催事業を拡充したことで予算の執行を抑えながら前年度より多い、年間19回の公演事業を行い集客の増加を図ることができました。また、例年定期的実施している事業が定着してきたことにより、市内だけでなく市外からの利用者も増えました。こうした年間の取組によって利用者に広く、文化や芸術に触れる機会を提供し、文化の振興を図ることができました。 (2)運営に当たっては、ベルホール310サポーターミーティング、ルッチガーデンのボランティア組織とともに協働して実施することができました。特にルッチプラザの夏祭り「じゃんぐるっち」では、サポーターミーティング以外にも、デイサービスセンター、健康推進員、ルッチ大学生、文化協会所属団体、警察、消防、税務署など各方面から参画を得て開催し、また、親子連れや地域の子どもの来館もあり、市民交流の場の創出を図ることができました。 (3)駐車場屋根からの漏水解消工事を実施して駐車場の支障が解消できたため、利用者の利便性が高まりました。	B

事業番号		29			
款	10 教育費	項	5 社会教育費		
		目	5 文化財保護費		
事業名	継続 文化財保護事業	主管課	教育委員会 歴史文化財保護課		
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	誰もが文化・芸術・スポーツを楽しみ健やかに暮らせるまちをつくる			
	単位施策	文化遺産の保存活用			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度
予算額	14,365,000	13,875,000	国 費	4,000,000	4,500,000
うち繰越	0	0	県 費	0	250,000
決算額	13,873,697	13,321,244	市 債	0	0
うち繰越	0	0	その他	218,230	482,500
執行率（％）	96.6	96.0	一般財源	9,655,467	8,088,744
80%以下の理由			その他の内訳（25年度） 講座受講料等 103,860円 市史等有償頒布 114,370円		
事業コスト	事業費	人件費（0.75人役）	計		
決算額	13,874 千円	5,482 千円	19,356 千円		
市民1人当たり（40,354人）	344 円	136 円	480 円		
事業の目的および内容					
歴史講座、各種文化財調査、指定文化財の維持管理、修理などを実施することで、米原市に伝わる数多くの文化財の保護・活用を図ります。					
事業の実績					
(1)歴史講座開催 59,244円 米原市の歴史文化への共通理解を育み、情報発信の役割を担っていただくことを目的に、毎回様々なテーマで市の歴史文化に関する講座を開催しました（17講座、参加者数482人）。 (2)章斎文庫調査 6,000,000円 埋もれた歴史文化遺産などの地域の素材を掘り起こす事業として、滋賀県を代表する地方史家 中川泉三氏（号：章斎）が収蔵した貴重で膨大な資料について、現状を把握し、その保存活用の道を探る基礎づくりを行いました。3巻6冊のうち4冊の報告書を刊行しました。 (3)文化財保護活動補助 5,548,000円 まちの歴史・文化を次代に引き継ぐため、国・県・市指定文化財の維持管理、伝承、修理に対して事業費の一部を管理者に補助しました（米原曳山祭保存会など24件）。 (4)埋蔵文化財活用事業 1,986,016円 ①遺跡を活用したイベント 「鎌刃城まつり」平成25年6月2日（日）鎌刃城見学、講演会 参加者約150人 ②特徴的な遺跡の紹介と、現地散策と連動した啓発資料の作成・設置など 「遺跡リーフレット」石臼生産遺跡など8遺跡、各3,000部 「米原市内遺跡ルートマップ」一伊吹山の山岳信仰編 5,000部 「遺跡案内看板」遺跡など13か所 「伊吹山修験と播隆・円空」一播隆フォーラムinまいばら 平成25年10月14日（日）参加者約240人 (5)その他（消耗品、印刷費、事務機器賃借料など） 280,437円					
評価の内容					評価
(1)歴史講座の開講により、市民の米原市の歴史への理解が深まり、地域での新たな発見につながりました。 (2)章斎文庫では、貴重な資料の現状把握が出来て、3巻6冊の報告書が刊行できました。 (3)米原市の歴史をひも解く上で貴重な指定文化財を次代に引き継ぐための維持管理、伝承、修理活動に対しての一助となりました。 (4)市内に残る多くの貴重な遺跡などを多くの市民に知っていただくとともに、地域住民と連携したイベントやフォーラムを通して、地域への誇りの意識高揚や情報発信に成果がありました。					C

事業番号	30				
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	5 文化財保護費
事業名	継続 文化財施設管理運営事業	主管課			教育委員会 歴史文化財保護課
総合計画上の 位置づけ	政 策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	誰もが文化・芸術・スポーツを楽しみ健やかに暮らせるまちをつくる			
	単位施策	文化遺産の保存活用			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	32,245,000	19,187,000	国 費	0	0
うち繰越	0	0	県 費	0	0
決算額	31,540,181	18,763,936	市 債	0	0
うち繰越	0	0	その他	963,882	770,734
執行率(%)	97.8	97.8	一般財源	30,576,299	17,993,202
80%以下の理由			その他の内訳(25年度) 柏原宿歴史館入館料 552,950円 柏原宿歴史館管理経費負担金 153,942円 公衆電話代等 8,990円 講座受講料 248,000円		
事業コスト		事業費	人件費(1.20人役)	計	
決算額		31,540千円	8,771千円	40,311千円	
市民1人当たり(40,354人)		782円	217円	999円	
事業の目的および内容					
市民に気軽に歴史に親しんでいただく場を提供するため、各館の特徴を生かしながら管理運営を行います。					
事業の実績					
(1)指定管理者に管理運営を委託しました。 ①醒井宿歴史資料館 3,965,801円 [うち指定管理委託料 2,712,840円] 指定管理者：醒井区 写真・絵画展 1回 入館者 619人 (H24年度 522人 対前年度比 +18.6%) ②伊吹山文化資料館(一部指定管理) 7,854,724円 [うち指定管理委託料 7,413,960円] 指定管理者：(公財)伊吹山麓スポーツ文化振興事業団 企画展7回、歴史アカデミー 11回、体験教室 16回 入館者 6,176人 (H24年度 5,744人 対前年度比 +7.5%)					
(2)市が直営により管理運営を実施しました。 ①柏原宿歴史館 6,268,851円 企画展 6回、講演会 4回 入館者 4,721人 (H24年度 4,338人 対前年度比 +8.8%) ②近江はにわ館 1,190,805円 企画展 7回					
(3)文化財施設解体 12,260,000円 ①文化財収蔵庫(大原収蔵庫、近江収蔵庫)の老朽化等に伴う解体 11,378,000円 ②文化財資料の移設 882,000円					
評価の内容					評価
(1)各館の特徴を生かした事業を中心に、歴史に親しんでもらう場を提供できました。また、作成する喜びや熱い思いを込めた市民の作品展示を通して、生涯学習の向上の一助となりました。 (2)指定管理者による施設管理運営により、効率的で効果的な運営ができました。 (3)老朽化に伴う危険施設の解体を行いました。					C

事業番号		31			
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	5 文化財保護費
事業名	継続 文化的景観保護推進事業	主管課			教育委員会 歴史文化財保護課
総合計画上の 位置づけ	政 策	田舎都市が魅せるいやしのまち			
	基本施策	美しい風景を守り維持するまちをつくる			
	単位施策	地域の良さを活かした景観の形成			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	2,000,000	2,500,000	国 費	1,000,000	1,250,000
うち繰越	0	0	県 費	0	0
決算額	1,897,422	2,467,420	市 債	0	0
うち繰越	0	0	その他	0	0
執行率(%)	94.9	98.7	一般財源	897,422	1,217,420
80%以下の理由			その他の内訳(25年度)		
事業コスト		事業費	人件費(0.85人役)	計	
決算額		1,897千円	6,213千円	8,110千円	
市民1人当たり(40,354人)		47円	154円	201円	
事業の目的および内容					
<p>文化的景観事業の推進により、地域を守り、次代へと継承していけるよう東草野地域(甲津原、曲谷、甲賀、吉槻)の日々の生活に根ざした身近な景観の文化的な価値を正しく評価し、人々が訪れ、他地域との交流を推進し、地域の活性化につなげます。</p>					
事業の実績					
<p>(1)重要文化的景観選定に向けての準備 ①現地等調査 4回実施 ②保存計画策定委員会開催 1回 ③選定への申出(申請)平成25年7月25日(木)</p> <p>(2)選定について ①国文化審議会からの答申:平成25年11月15日(金) ②選定確定(官報告示):平成26年3月18日(火)</p> <p>(3)啓発事業 「選定記念フォーラム」平成26年3月21日(祝)参加者約120人 ①東草野現地見学:甲津原(ふるさと伝承館、集落内など)、吉槻(集落内石仏、かつら木など) ②フォーラム:東草野概要報告、講演「県内文化的景観について」、パネルディスカッション</p> <p>(4)報告書ダイジェスト版刊行 現地調査結果と今後の保存計画を合わせた調査報告書を分かりやすく解説したダイジェスト版を作成しました。 (2,000部)</p>					
評価の内容					評価
<p>昨年度の現地調査による東草野の山村景観の特徴と、今後の保存活用に向けた保存計画の策定を基に、選定に向けた補足調査などを行い、国の重要文化的景観の選定を得ることができました。</p>					B

事業番号	32					
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費	
事業名	継続	図書館管理運営事業			主管課	教育委員会 図書館
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち				
	基本施策	人生を豊かにする学びを活かせるまちをつくる				
	単位施策	図書館整備の充実				
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度	
予算額	49,485,000	52,956,000	国 費	0	0	
うち繰越	0	0	県 費	421,000	428,000	
決算額	48,110,778	51,714,262	市 債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	116,390	5,175,943	
執行率(%)	97.2	97.7	一般財源	47,573,388	46,110,319	
80%以下の理由	その他の内訳(25年度) 利用者コピー収入 47,220円 公衆電話使用料 1,965円 本のリサイクル事業協力金 67,205円					
事業コスト	事業費	人件費(5.00人役)	計			
決算額	48,111千円	36,545千円	84,656千円			
市民1人当たり(40,354人)	1,192円	906円	2,098円			
事業の目的および内容						
(1)市民の求める最新の情報や資料を収集して整理し、利用しやすい図書館、暮らしに役立つ図書館運営に努めます(山東・近江図書館管理運営事業)。 (2)子どもが多くの本に出会い、本を通して豊かな心を育むよう、市民との協働で子どもの読書環境の整備・充実に取り組みます(本はともだち「おはなし隊」派遣事業、読書活動推進事業)。						
事業の実績						
(1)山東・近江図書館管理運営事業						
		山東図書館	近江図書館			
図書購入費		6,199,916円	5,302,746円			
臨時職員賃金		12,455,800円	6,947,972円			
貸出冊数		298,568冊(前年度比90.7%)	174,632冊(前年度比97.1%)			
蔵書冊数(平成26年3月末現在)		127,344冊	124,897冊			
うち平成25年度購入図書		4,313冊	3,691冊			
// 視聴覚資料		14点	—			
登録者数(実利用者数)		5,483人(前年度比94.8%)	3,523人(前年度比96.4%)			
予約・リクエスト件数		11,205件	7,936件			
その他		図書館協議会(5回)、蔵書点検実施、各種イベント、リサイクル開催など				
(2)本はともだち「おはなし隊」派遣事業(「本はともだち号」で、絵本や紙芝居を配本) ①おはなし隊巡回…週2回、幼稚園や保育所で絵本や紙芝居を貸し出し、読み聞かせを行いました。(貸出冊数:15,835冊、ボランティアの参加人数:172人) ②定期配本の実施…毎月、幼稚園・保育所等の18か所に100冊の絵本や紙芝居を配本しました。						
(3)読書活動推進事業 ①ボランティアの協力で、全小学校の1年生から6年生までの全クラスに巡回文庫を実施しました。 ②コーディネーターが中心となり、学校・地域と連携し、学校図書館の整備充実を図りました。 ③おはなしの講習会やボランティア交流会を開催し、ボランティアの育成や情報交換をしました。 ④成果報告会において、子どもたちの読書活動の取組やボランティアの活動を紹介しました。						
評価の内容					評価	
(1)両図書館で資料を分担収集することにより、約473,000冊(前年度比92.9%)の資料を提供することができました。 (2)配本車に絵本を積んで幼稚園や保育所に向くことにより、就学前の子どもに幼少時から絵本に親しむ機会を提供し、保護者に絵本やお話を介しての子育て支援ができました。 (3)市内の全小学校に子どもの読書活動を支援するボランティアグループが立ち上がり、学校図書館の整備がされるなど、子どもたちの読書環境が充実しました。					C	

事業番号		33			
款	10 教育費	項	4 幼稚園費		
目	1,2 幼稚園管理費・教育振興費				
事業名	継続	幼稚園管理運営事業・教育振興事業	主管課		
		こども未来部 保育幼稚園課			
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）		
予算額	83,335,000	79,115,000	国 費		
うち繰越	0	0	県 費		
決算額	80,722,586	74,066,026	市 債		
うち繰越	0	0	その他		
執行率（％）	96.9	93.6	一般財源		
80%以下の理由	その他の内訳（25年度）				
	幼稚園共済掛金保護者負担金 77,436円				
	幼稚園保育料 20,154,150円				
	教育実習生受入金 386,000円				
	通園バス負担金 3,951,000円				
	いぶき北分園負担金 13,203円				
事業コスト	事業費	人件費（1.35人役）	計		
決算額	80,723 千円	9,867 千円	90,590 千円		
市民1人当たり（40,354人）	2,000 円	245 円	2,245 円		
幼稚園児1人当たり（475人）	169,943 円	20,773 円	190,716 円		
事業の目的および内容					
<p>(1)市内5幼稚園の園児が安心して教育が受けられるよう、適切に園の管理を行うとともに、園児・教職員の健康管理を通じて、子どもたちが健やかに園生活を過ごせるようにします。</p> <p>(2)幼稚園評議員からの意見等を聴きながら、教育方針や計画を立て、地域に根差した特色ある園づくりを進めます。</p> <p>(3)いぶき認定こども園、山東幼稚園、ふたば幼稚園の園児を対象にスクールバスを運行し、通園時の安全性を確保します。</p> <p>(4)平成25年10月から、18歳未満の兄弟姉妹の2人目以降のお子様が入園した場合、保育料の無料化等を実施します。</p>					
事業の実績					
(1)幼稚園入園児数（平成26年3月31日現在）					
幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	合計	前年比
山東幼稚園	31	33	32	96	▲11
いぶき幼稚園	23	15	28	66	▲13
米原幼稚園	29	26	33	88	1
醒井幼稚園	15	10	5	30	8
ふたば幼稚園	58	68	69	195	1
合計	156	152	167	475	▲14
(2)園内研修会の開催				（単位：人）	
幼稚園名	開催回数	内 容			
山東幼稚園	11	研究主題に沿って講師の先生を招き、公開保育を実施しました。また、学期末には各担任・特別支援加配担当者がとった事例を基に、事例研究会を開催しました。			
いぶき幼稚園	9	滋賀県美術教育研究大会に向けた公開保育・事例研究会・講師による講話等を実施しました。			
米原幼稚園	10	研究保育および研究協議会、こども人権教育保育交流研究会(公開保育)、事例研究会・講師による講話を開催しました。			
醒井幼稚園	9	滋賀県人権教育研究会米原研究会に向け、3歳児の公開保育・事例研究会・講師による指導を実施しました。			
ふたば幼稚園	22	各クラスの研究保育に向けての事前研究会・研究保育と研究協議会（講師の指導講話を含む）・事例研究会等を実施しました。			

(3)主な経費

- ①園の管理、臨時講師の賃金等に係る経費 66,552,387円
- ②教育振興に係る経費 1,540,914円
- ③バスの運行に係る経費 12,629,285円

(4)18歳未満の兄弟姉妹の2人目以降のお子さんが入園した場合、保育料の無料化を行いました。

【軽減額7,940,400円(対象延べ人数1,440人)】

評価の内容		評価
(1)研修会等の開催により、保育者の資質向上に努め、幼児教育の充実を図ることができました。 (2)幼児の健康管理に努め、幼児の健康増進を図ることができました。		C

事業番号	34				
款	10 教育費	項	4 幼稚園費	目	3 施設整備費
事業名	継続 幼稚園施設整備事業	事業名			主管課 こども未来部 保育幼稚園課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実			
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度
予算額	742,315,000	223,206,000	国費	0	0
うち繰越	91,704,000	8,000,000	県費	0	0
決算額	327,138,372	129,401,250	市債	301,700,000	120,700,000
うち繰越	72,735,600	7,989,450	その他	0	0
執行率(%)	44.1	58.0	一般財源	25,438,372	8,701,250
80%以下の理由	事業費の一部を平成26年度に繰り越したため。		その他の内訳(25年度)		
事業コスト	事業費	人件費(1.50人役)	計		
決算額	327,138千円	10,964千円	338,102千円		
市民1人当たり(40,354人)	8,107円	272円	8,379円		
保幼就園児1人当たり(1,388人)	235,690円	7,899円	243,589円		
事業の目的および内容					
<p>(かなん認定こども園建設事業) 既存の息郷保育園と醒井幼稚園は、築30年以上が経過して老朽化が著しく、また、就園児の減少により適正規模の集団が確保できないなどの課題があったことから、この2園を統合し認定こども園の建設を行います。</p> <p>((仮称)おうみ認定こども園建設事業) 新興住宅地が多い近江地域では、乳幼児数が多く一時預かり事業など多様な保育ニーズもあり、現在の施設では対応が困難になってきたことから、近江にし保育園、近江ひがし保育園およびふたば幼稚園の3園を統合して新たに認定こども園の建設を行います。</p> <p>(天狗の丘改修工事) 法面が崩れ遊具の基礎が露出して危険な状態であるため、ブロック積工により改修工事を行います。</p>					
事業の実績					
(1)登記事務委託料	かなん認定こども園登記委託業務 (仮称)おうみ認定こども園登記委託業務	333,650円 1,537,045円	[かなん認定こども園] 木造平屋建 園舎 1,337.3㎡ 屋外倉庫 28.0㎡ バス車庫 32.0㎡ 自転車置場 8.9㎡ 外構 一式		
(2)設計監理委託料	かなん認定こども園建設工事設計監理業務 (仮称)おうみ認定こども園建設工事監理業務 (仮称)おうみ認定こども園乳児棟設計監理業務	5,683,650円 3,528,000円 2,579,000円	[[仮称)おうみ認定こども園] 鉄骨造2階建 園舎 1F 3,831.24㎡ 2F 919.29㎡ 合計 4750.53㎡ 付属棟 33.0㎡ 自転車置場 10.8㎡ 外構 一式		
(3)工事請負費	天狗の丘改修工事 かなん認定こども園建築工事 (仮称)おうみ認定こども園周辺整備工事 (仮称)おうみ認定こども園建築工事	5,432,700円 53,592,000円 44,389,800円 122,640,000円			
(4)負担金補助及び交付金	(仮称)おうみ認定こども園水道加入負担金 (仮称)おうみ認定こども園水道工事負担金 (仮称)おうみ認定こども園公共下水道受益者負担金	1,491,000円 7,064,400円 1,351,560円			

事業の実績

【かなん認定こども園完成イメージ図】



【(仮称)おうみ認定こども園完成イメージ図】



評価の内容	評価
<p>(認定こども園建設事業) かなん、(仮称)おうみ両認定こども園の開園に向けて建設工事に着手しました。 (かなん認定こども園:平成26年9月1日、(仮称)おうみ認定こども園:平成27年4月1日開園予定)</p> <p>(天狗の丘改修工事) ブロック積工により法面崩壊を防ぎ、遊具の安全性が確保され幼児に安心した遊びを提供できるようになりました。</p>	A

事業番号		35			
款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育振興費
事業名	継続 学校統合検討事業	主管課			こども未来部 保育幼稚園課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち			
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる			
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実			
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度
予算額	898,000	35,620,000	国 費	0	2,500,000
うち繰越	0	0	県 費	0	0
決算額	677,912	35,102,405	市 債	0	0
うち繰越	0	0	その他	0	0
執行率（％）	75.5	98.5	一般財源	677,912	32,602,405
80%以下の理由			その他の内訳（25年度）		
（仮称）おうみ認定こども園のアンケートを郵送ではなく園を通じて配布し、郵送料を抑えることができたため。					
事業コスト		事業費	人件費（2.20人役）	計	
決算額		678 千円	16,080 千円	16,758 千円	
市民1人当たり（40,354人）		17 円	398 円	415 円	
保幼就園児1人当たり（1,388人）		488 円	11,585 円	12,073 円	
事業の目的および内容					
醒井幼稚園および息郷保育園の統合、ならびにふたば幼稚園、近江にし保育園および近江ひがし保育園の統合に向けた準備を進めます。					
事業の実績					
<p>醒井幼稚園と息郷保育園の統合に向け、かなん認定こども園設置協議会を開催し、円滑な統合が図れるよう協議を行うとともに、平成26年9月に開園するための必要な準備を行いました。</p> <p>また、ふたば幼稚園、近江にし保育園および近江ひがし保育園を統合し、新たに認定こども園を設置することについて、保護者懇談会や地元説明会などを行い、施設の建設および開園に向けた調整を行いました。</p> <p>(1)かなん認定こども園設置協議会の開催 20人の委員により、新しい園の教育目標、校歌・校章、PTA組織、標準服・体操服、通園バスの運行等の検討を行いました。 新校設置協議会委員報償（20人、会議9回開催） 508,000円</p> <p>(2)かなん認定こども園の園歌および園章の選定 園歌の歌詞、園章のデザインを一般公募し、決定しました。 園歌・園章募集作成謝礼 123,000円 【応募状況】園歌の歌詞： 応募者数 8人、応募件数 9件 園章デザイン： 応募者数 91人、応募件数 95件</p> <p>【作品の趣旨】 「かなん」の「か」を図案化し、自然豊かな環境を緑色で表現しています。子どもの動きが感じられるように、形に変化をつけています。中心部には「こども」の「こ」を円形に配置し、優しく朗らかな子どもに育ってほしいという願いを、オレンジ色で表現しています。全体の形の丸みは、「園」を表現しています。</p>					
評価の内容				評価	
<p>(1)かなん認定こども園設置協議会で協議を重ねていただき、平成26年9月からの開園準備を整えました。</p> <p>(2)(仮称)おうみ認定こども園を平成27年4月から開園することと決定し、準備を進めました。</p>				B	



かなん認定こども園園章

事業番号	36					
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 青少年育成費	
事業名	継続	次代を担う青少年育成事業			主管課	こども未来部 子育て支援課
総合計画上の 位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち				
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる				
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実				
事業費（円）	25年度	24年度	財源内訳（円）	25年度	24年度	
予算額	2,630,000	2,630,000	国 費	0	0	
うち繰越	0	0	県 費	96,000	428,000	
決算額	2,314,981	2,309,690	市 債	0	0	
うち繰越	0	0	その他	0	0	
執行率（％）	88.0	87.8	一般財源	2,218,981	1,881,690	
80%以下の理由	その他の内訳（25年度）					
事業コスト	事業費	人件費（1.40人役）	計			
決算額	2,315 千円	10,233 千円	12,548 千円			
市民1人当たり（40,354人）	57 円	254 円	311 円			
事業の目的および内容						
<p>青少年の健全育成や地域で子どもを育てる環境づくり、家庭の教育力向上のため、関係団体への活動助成を行います。</p> <p>活動助成団体：米原市青少年育成市民会議、米原市子ども会育成連合会、米原市PTA連絡協議会</p>						
事業の実績						
<p>(1)市青少年育成市民会議への活動助成（補助金：1,061,422円）</p> <p>「青少年健全育成」「非行防止・有害環境浄化」「安全確保」「家庭支援」等の活動助成</p> <p>①あいさつ運動の実施：年間9回、毎回約200人参加</p> <p>②青少年育成大会開催：平成25年10月12日（土）、ルッチプラザベルホール310、約240人参加</p> <p>(2)市子ども会育成連合会への活動助成（補助金：1,035,296円）</p> <p>①創作体験活動（ふれあいの里フェスティバル）の実施 平成25年11月17日（日）、醒井養鱒場、約300人参加</p> <p>②支部事業（4支部）および各単位子ども会（96団体）への助成</p> <p>③会員数：3,105人</p> <p>(3)市PTA連絡協議会への活動助成（補助金：218,263円）</p> <p>市内のPTA会員の家庭教育力の向上および教育啓発事業等への活動助成</p> <p>①教育講演会開催：平成25年10月12日（土）、ルッチプラザ、約300人参加</p> <p style="text-align: center;">講師：教育評論家 <small>おやのちから</small> 親野智可等氏</p> <p>②会員数：3,532人</p>						
評価の内容					評価	
<p>(1)市青少年育成市民会議では、あいさつ運動や巡回パトロールを定期的実施し、青少年の健全育成と非行防止を図ることができました。</p> <p>(2)市子ども会育成連合会では、創作体験活動を実施することで子どもの自主性と協調性を伸ばすとともに、地域の子供達を地域で育てる力を高めました。</p> <p>(3)市PTA連絡協議会では、教育講演会を実施し、家庭教育力の向上を図ることができました。</p>					C	

事業番号	37										
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 青少年育成費						
事業名	継続	少年センター事業			主管課	こども未来部 こども家庭課					
総合計画上の位置づけ	政策	誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち									
	基本施策	地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる									
	単位施策	子どもを支える教育環境の充実									
事業費(円)	25年度	24年度	財源内訳(円)	25年度	24年度						
予算額	3,649,000	5,595,000	国費	0	0						
うち繰越	0	0	県費	1,356,700	1,355,200						
決算額	3,192,869	5,324,788	市債	0	0						
うち繰越	0	0	その他	0	0						
執行率(%)	87.5	95.2	一般財源	1,836,169	3,969,588						
80%以下の理由			その他の内訳(25年度)								
事業コスト	事業費		人件費(3.10人役)	計							
決算額	3,193千円		22,658千円	25,851千円							
市民1人当たり(40,354人)	79円		561円	640円							
事業の目的および内容											
<p>(1)青少年の非行防止・犯罪の未然防止のために少年補導委員や関係機関との連携の下、日常的な補導活動・有害環境浄化活動等を実施しました。</p> <p>(2)不登校・非行、無職少年やニート・引きこもりの青少年および家族からの相談を受け自立に向けた支援を実施しました。</p>											
事業の実績											
<p>(1)街頭補導、深夜パトロール、登下校指導、声掛け活動を定期的実施(延べ201回実施)</p> <p>(2)環境浄化活動として、有害図書等立入り調査・シンナー薬物等立入り調査・白ポスト・有害図書回収活動の実施(月2回定期回収、回収総数1,987点)</p> <p>(3)少年およびその家族等からの不登校・いじめ・問題行動等に関わる相談実施(312件)</p> <p>(4)「少年の主張作文集」発行…作品募集および文集作成・発行…年1回 「少年センターだより」の発行…年3回</p> <p>(5)薬物乱用防止啓発活動として、薬物乱用防止セミナーおよび薬物乱用防止教室実施…5回</p> <p>(6)無職少年対策指導員や少年補導委員の研修実施…7回</p> <p>(7)小中学校や警察署、保護司会等との情報交換 ※中学校・高等学校等の訪問19回</p> <p>(8)職員および少年補導委員による補導活動 ※街頭指導活動(201回)啓発活動等</p> <p>(9)相談活動(延べ312件) ※不登校・非行・交遊関係・いじめ・学業 ※就労相談については若者自立ルーム「あおぞら」との連携</p> <p>[主な経費]</p> <table border="0"> <tr> <td>少年補導職員賃金(1人)</td> <td>1,688,500円</td> </tr> <tr> <td>補導委員報償費(37人)</td> <td>370,000円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>273,966円</td> </tr> </table>						少年補導職員賃金(1人)	1,688,500円	補導委員報償費(37人)	370,000円	印刷製本費	273,966円
少年補導職員賃金(1人)	1,688,500円										
補導委員報償費(37人)	370,000円										
印刷製本費	273,966円										
評価の内容					評価						
市教育委員会、米原警察署、少年補導委員等と連携し、パトロールや啓発活動、補導・指導活動を行うことで青少年の非行防止や再発防止等の健全育成を図ることができました。 また、他機関と連携して問題行動等の相談に継続的な支援を行い、解決につながったケースもありました。					C						

平成25年度

幼稚園学校評議員による学校評価

4：よくできている 3：できている 2：あまりできていない 1：できていない

1 園経営全体に関わること・・・・・・・・・・・・・・・・・・評価 3.74

視点① 園の目指す園経営の基本や子ども像は、地域の子どもたちの実態に合っている。

- ・園教育目標に基づき、計画的に実践されていることを感じました。
- ・地域に園経営や子ども像の情報発信ができればよいと思います。

視点② 園の教育（保育）目標、教育（保育）推進の基本、園の様子等を保護者や地域にわかりやすく説明し、地域に開かれた信頼される園づくりに取り組んでいる。

- ・園の教育目標の達成に向けて、園長のリーダーシップの基、職員間で話し合い具体的な方策を掲げた取組がなされている。特に、子どもが自ら考え行動する力を育み、生きる力の素地を形成するために努力されている点が評価できる。
- ・園の教育目標に向けて、地域の自然や施設を生かし、また、地域の人々（多年齢）と交流しながら保育・教育されていた。まず、職員の方々が目標に値する姿を子どもたちに見せておられることが印象的で、すばらしいと思った。
- ・着実に成果を上げていると評価している。9月から認定こども園となる現状を踏まえ、大人数化し複雑化する園経営に対する諸問題や対策は、今年度の取組の中から多くを導きだしてくださいとの、大いに期待している。

視点③ 園長のリーダーシップのもと、教職員が一丸となって、園の教育（保育）目標達成に向け、協力して取り組んでいる。

- ・園長のリーダーシップのもと、教職員のチームワークもよく各年齢層に応じた教育が行われている。教職員間のコミュニケーションがしっかりとれている。先生方がのんびりの中で、園が経営されているように見受けられます。
- ・子どもたちの生き生きとした様子を見ると園内が安心できる心地よい場であるようです。クラスの枠をこえて協力して保育に取り組まれていて、保護者の信頼を得られているようです。
- ・園長のリーダーシップのもと、全職員が教育目標の実現のために、一人ひとりの職員の良さを生かしながら、うまく職員間の歯車がかみ合い、とりわけ若い先生とベテランの先生方との関係がうまくいっており、生き生きとした園運営がなされていることを肌で感じました。
- ・職員が、一丸となって取り組んでいることがよくわかります。しかしながら、職員不足が保護者との対話不足になっているようです。教委には、職員増をお願いします。

視点④ 特別支援保育推進に向け、障がいのある子どもの視点に立ち、子どものニーズを把握し、きめ細かな支援の充実を図っている。

- ・特別支援の子どもたちに対して、園全体で支援に取り組まれている素晴らしいことと思いますが、1週間の中で担当の先生が入れ替わるようなので、子どもが安定した生活を送れる配慮をしていただきたいと思います。
- ・障がいのある子ども一人ひとりの成長段階に応じた保育がなされており、とりわけ、保護者との連携を大切に、保護者と一緒になった保育ができていて、安心できました。
- ・特別支援で担任が市教育センターの論文にて賞を受賞されるなど、きめ細やかな指導がなされ、保護者も信頼を寄せている。
- ・課題をもつ園児（保護者）への支援・連携の進め方を職員が共通理解し、職員間の絆を強くした対応を工夫してほしい。

視点⑤ 保護者や地域との連携を図り、地域の教育力を生かした取組を積極的に推進している。

- ・自然が美しい伊吹の特性を活用した園の取組ができています。特に、地域の方々との連携は良い。
- ・地域とつながった保育を実践され、連携することによりいろいろな体験ができる。
- ・保護者アンケートを取られているのは良いと思った。今後はアンケート結果を園運営に反映させ、さらなる向上を期待する。
- ・地域の人々の協力のもと、折にふれ、地元の豊かな自然の中に出かけ、生き物に触れさせながら、命の大切さ・自然の持つ美しさや不思議さ等の子どもたちの感性を磨く保育がされており、地域の教育力を生かした取組ができています。

視点⑥ 教育・福祉・保健等関係機関との連携を図り、子どもの育ちをつなぎ、ともに支える取組を行っている。

視点⑦ 全ての子育て家庭に対する支援の取組を積極的に行っている。

- ・孫が子育て支援センター事業に参加させていただき、親子ともに安心して遊びに参加できることを喜んでいる。日頃の子育ての悩みを他の親さんと共有できることはとてもうれしい。
- ・本当の子育て支援とは、親が子育てをしなくて済むための支援ではなく、親が子育てを楽しくできるようにするための支援であるべきだと考えます。幼児期の子どもたちの生活に保護者を巻き込んでいくような方向で、本当の子育て支援を進めていただきたいと思います。

2 基本的な生活習慣の形成・・・・・・・・・・・・・・・・・・評価 3. 58

視点① 基本的な生活習慣の定着を図るため、生活に必要な習慣や態度が生活体験を通して養われるよう生活指導の工夫に努めている。

- ・訪問時の子どもたちの姿勢や活動の様子から日頃の生活習慣の指導や社会性の育成によく努力しておられることが十分に伝わってきます。
- ・年齢の小さな子ども達、個性豊かな子ども達がいる中で、しっかり行き届いた生活習慣を身に付けさせようとされていることがうかがわれる。
- ・園児たちは、基本的な事柄が身についてくると、大人の予想より早く広くその効果が表れ、

広がっていくものであるが、まさにそのような状況が表れている。

- ・良いこと、悪いこと、ほめること、叱ることなど、保護者とは別な立場（先生）として、しっかり教えてください。
- ・基本的な生活習慣も園生活の中で、繰り返し行うことに加えて、各家庭への呼びかけ等も行い、身に付くような指導がされていると思います。生活習慣は、園だけで習得できるものではないので、保護者の方の協力も必要だと思います。

視点② 社会の決まりや集団生活のルールの習得に向け、教職員の共通理解のもとに取り組んでいる。

- ・教職員の方々の共通理解があつての声掛けや待つことのタイミングが感じられた。
- ・園外保育等を利用して、交通ルールやマナー等の習得によく努められている。
- ・あるときは『組』で、あるときは『組の枠を超えて』と切り替えが自然と行える規模の園であることが利点となり、仲間づくりや遊びの種別によるグループ化などに活かされている。園児が室内外で生き生きと活動している姿が見られる。
- ・生活の中で、年上の子が年下の子の世話や気配りをするなどの行為も自然にできていた。

視点③ 子どもたちの望ましい食習慣の形成に園全体で取り組んでいる。

- ・園内で野菜を育て自分たちで調理するなど、食に対する意識を高める活動が取り入れられていると思います。
- ・子ども達にはバイキングが好評だった。回数が増えるといいと思う。
- ・一月に園児の皆さんと給食をいただくことができました。みんな喜んで食べているのを見させていただいて、とても幸せな気持ちでした。園児の中に箸がうまく使えない子がいました。家庭で躰けられるといいと思いますが、園でも根気よく躰けてあげてください。
- ・昔の暮らし体験（焼き芋など）を通して、食べること、米づくり、命をいただくということの大切さなどを学び、身につける機会も充実してほしい。

3 豊かな感性や表現力の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・評価 3. 7 2

視点① 全身（五感）を働かせた活動を展開している。

- ・五感を使った活動に対しても周囲の自然を取り入れた活動・製作などが、工夫され、体全体で感じることでできる環境づくりがされていると思います。
- ・限られた時間の中で、五感を使った遊びに力を入れられています。子どもたちもとても生き生きとした表情で楽しそうに遊んでいます。ゲーム機などで疑似体験が多くなる中、これからも積極的に取り組んでほしいです。
- ・この地域、場所で育ったことを、地域の自然の移り変わりや電車等の音、口ずさむ歌などを通して、記憶に浸み込むような取組を期待する。

視点② 子どもたちが喜んで話したり、聞いたりすることができるよう、教職員がきめ細かな対応を心がけている。

- ・今年度の園内研究のテーマに応じて、各年齢に応じた取組を工夫されていて、すばらしいと

思います。自己表現の苦手な子どもにも積極的に関わっていただきたいと思います。

- ・子どもたち一人ひとりが先生方を信頼している様子がよくわかります。喜んで生き生きと歌い、行動をしながら毎日園で楽しんでいる姿や声が聞こえてきます。一年の成長が良くわかる。
- ・絵本や紙芝居の計画的な取組により、子どもが本に興味を持ったり、おはなし会を楽しみにしたりしている様子が伝わる。
- ・子どもの目線に立った保育がなされていました。子どもたちの何気ない言葉・しぐさ・描いたものから、子どもたちの隠れた資質を引き出してあげられる保育力が必要です。当園では、若い先生方が多いうえ、子どもの人数も多いので、一人ひとりへの目配りがなかなかできにくいですが、経験と研修と他の先生方の良いところを積極的に取り入れ、ベテランの先生のアドバイスを素直に受け入れるなどを積み重ね、より良い保育士を目指して、子どもたち、一人ひとりに生きる力を植え付けられるように努力してください。

視点③ 一人ひとりの子どもの主体性を大切に、満足感・充実感を味わえるような環境の構成および活動を展開している。

- ・一人ひとりの園児のつぶやきや顔の表情等を大切にしながら、満足感、充実感を味あわせる取組がなされている。
- ・先生大好き、友だち大好き、幼稚園大好き、…好き、好きという子どもたちの思いが多いことは園長先生や職員皆さんの子どもに対する熱い思い、ご指導があればこそと思います。子どもが「〇〇大好き!!」と力強く発することが大切です。
- ・全ての保育室が、きれいに整理整頓ができており、保育室が明るくなり、気持ちよかったです。保育室の掲示も新しい作品が飾られており、それぞれの先生方の個性が表れていましたが、さらに、園児の目線に立って、見やすく、美しく掲示する工夫をしてください。
- ・子どもたちの感性を育む大切な時期です。子どもたちの個性は様々で無限で、興味の持ち方も様々です。この時期に与えてあげたい環境を先生方の創意工夫・改善で、提供してほしい。
- ・恵まれた自然の中で、四季折々、いろいろな体験をして、自然の不思議さやおもしろさを感じ、命の尊さも体験していくと良いと思います。体験が十分できるような環境構成を仕掛けていくことや自ら切磋琢磨していくことが、重要だと思います。

4 健やかな体と豊かな心の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・評価 3. 68

視点① 心身ともに健康で安全な生活が行われるよう環境づくりを工夫している。

- ・園の訪問の時に健康安全な環境づくりや自然とのふれ合いを大切に活動に努力しておられる様子がよくうかがえました。
- ・古くて、手狭な園舎のために仕方ありませんが、再度、廊下や室内の備品について、緊急事態を想定して、安全管理の面から見直しをしてください。

視点② 自然や動植物、絵本や物語等に親しむ機会を個々や集団に合わせて取り入れている。

- ・絵本に関しても園内の図書だけでなく移動図書を利用したりサークルの方の読み聞かせがあったりと本に接する機会が多くあり良いと思います。
- ・子どもの様子を見せてもらう中で、クラスによってカラーが見られるが、特色があってよい

のではないかと。子どもも成長しながらいろいろなことを身に付けてくれることと思う。特に、自然環境に対して多くの取組をしていただいている。

- ・いろいろな環境づくりがされていると思うし、近くにある環境もうまく取り入れていると思う。『ふるさと』の水の美しさ、山の大きさ、草木の変化、そして、サルやヒル等の生き物と自分たちの関係等、多くの深いものを学び身についていると思った。
- ・四季に応じていろいろな体験や経験ができるように、先生方が考えてくださっているのが素晴らしい、とてもありがたい。
- ・戸外でのびのびと遊んだり、子どもたちの興味を大切にされた保育環境を準備したりして、一人ひとりが自己発揮できるように努めてほしい。

視点③ 自然環境にかかわり動植物などの飼育・栽培を通して、自然の不思議さや命の大切さに気づく取組をしている。

- ・動物の飼育・花や野菜の栽培等を通して動植物を身近に感じると共に興味の持てる環境にあると思います。季節に応じた活動も子どもたちが自然の移り変わりを実感できる内容だと思う。
- ・動植物を通して命の大切さや季節ごとの菜園活動。最近、家庭ではできない体験も園で楽しくできているのではないかと思います。

視点④ 身近な大人や友だちと一緒に、調理したり食べたりする楽しい食体験の工夫に取り組んでいる。

- ・食育の関係では、地域野菜をもっと使うような工夫が必要だと思う。特に生産者の顔が見えるよう、定期的に園だよりに掲載すると良いと思う。
- ・田や畑にかかわっている保護者も少ない中、園で一人一鉢で育てることによって親子の絆も深まり、収穫を楽しめたことと思います。園で栽培した野菜を調理して食べるなどは素晴らしい体験で子どもたちの心に残ることと思います。
- ・自然環境に恵まれているほうかなと思われそうですが、もっとダイナミックに触れて、見て、発見できる自然や動植物等に接する環境づくりに工夫が大切かと思われそうです。
- ・うこっけい当番や園外での楽しい自然体験活動を通じて、命の大切さ、自然の大切さ、ふるさとを知って大切に作る心と体が育まれている。
- ・飼育動物がいなくなったとのこと、来年度には、何か飼育できるようにしてください。

5 人と関わる力の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・評価 3. 6 4

視点① 一人ひとりの子どもが安心して自己表出できるような保育者との信頼関係づくりに努めている。

- ・子どもが自分に自信をもてるような言葉かけを心がけているとのことですが、先生方に認めてもらえることが、お互いの信頼関係につながっていくことと思います。
- ・一年間のまとめとしての保育参観で年齢に応じたごっこ遊びの様子を一部参観させていただいた。子どもたちは緊張もあったと思うが、自信につながっていくと思う。子ども達が安心して発表できるような配慮がされていて良かった。
- ・まず、管理職と保育士と保護者がうまくかみ合いながら、子どもたちと関わっていかねばな

りません。幸い、それぞれの関係者との意志の疎通がうまくいっておりますが、さらに、努力と工夫を重ねてください。

- ・人との関係は、まず挨拶ができることです。最近、大人も挨拶できない（しない）人が多い世の中で、先生方が笑顔で挨拶を徹底して、身に付けさせてほしいです。自己表出も、まず挨拶からだと思います。

視点② 子どもが生活や遊びに主体的に取り組み、繰り返して体験できるような環境作りに取り組んでいる。

- ・子どもたちの様子や個性を見極め、各クラスに応じて活動内容を工夫されていることは、すばらしいと思います。また、遊びの内容も複数用意され、子どもたちが自分の意志をもって取り組める環境になっていると思います。
- ・「誰でも失敗する」を合言葉として、園児の失敗を互いに認め合い、失敗を大切に生かし合う雰囲気づくりに努められ、成果を上げておられる。
- ・失敗することもあり、失敗をしても頑張れば〇〇が出来るようになるということを、子どもたちに伝え、子どもたちが取り組んでいく様子を温かく見守っておられる職員の方々。そのような毎日の園生活の中で、子どもたちの人と関わる力の育成が培われています。職員のみならず一人ひとりの子どもにきめ細かい指導をされていると感じます。
- ・核家族が増加している状況から、子どもたちの縦のかかわり、付き合いを学んだり、体験できる機会も充実してほしい。

視点③ 子ども同士と一緒に活動する中で、友だちの良さや自分との違いに気付いたり、互いに認め合ったりする支援を行っている。

- ・園内研究のテーマを人と関わる力の育成の視点で設定して、職員が共通理解のもとに子どもたちの教育に取り組んでおられることは大変頼もしいことです。
- ・子どもたち一人ひとりが認めてもらっていることや、安心して自分を出している（ルールを守りつつ）様子が感じられる。子ども同士が認め合っている言動に感心する。家族から社会へと成長していく自然の流れとして、『少数者から』の良さを生かしておられると思う。
- ・子ども同士のトラブルを大事な教育の題材にして、自分の思いを伝える場、相手の意見を聞く場、折り合いをつける場と位置付けて指導しておられ『人とかかわる力の育成』を感じる。
- ・以前よりも園児数が増えていることが、園児の育ちや園づくりなどに良い結果を生み出しているように感じる。
- ・園生活の中で、多様な経験や感情体験を通して育まれる人と関わる力は、幼児の社会性や情緒の発達、興味関心等の知的な面の発達へとつながります。意欲的な活動や友だちとの関わりを、より高めていくことが重要です。また、友だちと一緒に活動し、充実感を味わうことができるような援助の工夫を考えてください。

平成25年度

小・中学校学校評議員による学校評価

【小学校集計結果】

4：よくできている 3：できている 2：あまりできていない 1：できていない

1 学校経営全体に関わること・・・・・・・・・・・・・・・・ 評価 3.71

視点① 学校の目指す学校像・子ども像は、地域や子どもたちの実態に合っている。

視点② 学校の教育目標、重点目標、学校の様子等を、学校便り等により保護者や地域にわかりやすく説明するなど、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組んでいる。

- ・めざす学校像、子ども像は、子どもにもわかりやすく、知育徳育体育に沿い、歴史遺産や自然環境に恵まれた地域に相応しい。また教育目標、重点目標は、達成のための具体的な手法や方策、取組姿勢がよく検討されています。教育にかかる学校側の受託責任について、情報公開としての授業参観、広報活動等、透明性についての配慮がされており評価できます。
- ・毎月発行の学校だよりに教育活動等が紹介され、地域に住む者にも学校の取組が理解できる。
- ・学校だよりは子どもが在籍している家庭だけではなく地域の人達も各自治会の回覧板などによって周知されている。学校のHPも定期的に更新されているが、HPを知らない人が多い。
- ・学校側として校長先生と教職員の心が今ひとつ一致団結していないように感じる。教育目標を具体的にしっかり話し合い、心をつにしていけることが学校職員の基本姿勢だと思う。先生方の心がバラバラでは子どもたちは良い方向へ伸びていかないと思う。
- ・保護者全体の学校に対する連携意識が低いと感じるところである。学校は保護者がもっと参加できる、または、しなければならないような仕組み作りをしていかなければならない。

視点③ 校長のリーダーシップのもと教職員が一丸となって、学校の教育目標達成に向け、協力して取り組んでいる。

- ・児童たちはそれぞれの先生方を見ていて、尊敬し信頼しています。立派な校長先生、教頭先生の下で先生方が一丸となってがんばって頂いていると確信しています。
- ・「家庭学習の手引き」で保護者向けに、児童が家庭学習を習慣化させるためのポイントや、児童が家庭学習をするポイントや手順等、今回新たに考案され、保護者や児童との約束事とされたことは、校長のリーダーシップのもと、担任教師・児童・保護者が一体となって、教育目標達成に向けて取り組みをしている証であると思う。
- ・小学校地域連携推進会を立ち上げ、通信の発行・配布など一体化への努力や学校の指導体制の強化・取組が明確に表れていて、小・中学校での連携した指導が評価できる。
- ・校長のリーダーシップは、すべての行事に結果として表れます。先生方の一日一日の真摯な授業の積み重ねが、子どものみならず、自分をも成長させます。自分が変われば子どもも変わります。適度の緊張とワンランク上をめざすやる気を子どもが持って臨んでほしい。

2 自立した人間として生きていくための総合的な力「人間力」を育む教育の充実評価 3.39

視点① 学校は、道徳教育の推進やいのち・人権を大切にすする心の教育の推進および「いじめのない学校づくり」に向けていじめの未然防止・早期発見・早期解決に積極的に取り組んでいる。

- ・登下校時の児童は、いつも帽子をとってお辞儀をしながら大きな声で挨拶しており、大変気持ちが良い。
- ・「いじめのない学校づくり」については最重要課題として学校が一丸となって取り組まれている様子がよくわかる。保護者の評価が如実に現れている。
- ・学力向上に偏りがちで「人間力」の育成は、やや弱いように思います。公教育の限界を意識されつつ、家庭や地域との協体制づくりをお願いします。
- ・挨拶運動が定着しつつあり、朝の集団登校時にも「おはよう」と挨拶をすると元気な声で「おはようございます」と返事が返ってくる。ただし、一部の子は下を向いたまま通り過ぎることがあり、まだまだ、完全に定着しているとは言い難く継続して取り組む必要があると思う。
- ・社会性、規範意識、勤労観や職業観は、学校の取組はもとより、家庭での影響が大きいため、いかに家庭への啓発をしていくかが大切である。

視点② 学校は、児童生徒が社会性や規範意識を身につけ、望ましい勤労観や職業観を育てる系統的なキャリア教育に努めるなど、自己指導力を培う教育に積極的に取り組んでいる。

- ・チャイムなしで時間励行がされていることは、素晴らしい。
- ・トイレのスリッパがいつもきれいに揃えられていて感心している。保健委員会(児童会)の取組の成果である。
- ・児童が集団生活の中で社会性や規範意識を身に付け、自らの目標をしっかりと持ち、目標の達成に向けて主体的に行動しようとしていることは、望ましい教育方針の現れだと考えます。

視点③ 学校は、児童生徒が運動やスポーツに親しみ、体力の向上を目指す教育の推進に取り組んでいる。

- ・今年はグラウンドで遊ぶ子が多いように思います。マラソンカードなど工夫した取組の成果かと思えます。子どもたちは少しのきっかけで、すごい力を引き出してくれるものですので、いろいろ工夫した取組をこれからもお願いします。
- ・児童が遊びや縦割り活動の中で、ルールを作り、ルールを守り、生き生きと活動している。
- ・学校教育ではないが、地域における集団遊びが見られなくなった昨今、スポ少が果たす役割は大きい。学校は、あらゆる面(人的、物的、環境)でバックアップしてほしい。
- ・高学年に部活動を取り入れていただきたい。

3 個性を生かしつつ一人ひとりに確かな学力を育む教育の充実・・・評価 3.34

視点① 学校は、市や全国の学力学習状況調査の結果を分析し、学力向上策を立て、基礎基本の定着と確かな学力を育む教育の推進に取り組んでいる。

- ・市、全国の学力・学習状況調査を分析し、確かな学力をつけていくために取り組む努力をされており、長期の取組で、成果が上がるよう取り組んでいただけたらと思います。
- ・米原市は、全国学力調査の結果があまりよくなかったように聞いています。全国学力テスト向きの答案用紙の書き方の訓練等機会をつくって幅広く御指導賜れたらと思います。
- ・校長先生の前で暗唱し、できたら賞状がいただけるように聞きました。このことは子どもたちにながらややる気を喚起させ自信を持たせるのにたいへん有意義なことだと思います。
- ・土日の宿題で日記を出して頂いていると思います。すべての学年で行われているか分かりませんが、文を書く練習になり、親の一人として喜んでおります。また、朝読書でも、「一言感想文」などを書くようにすると本を読む姿勢も変わってくると思います。
- ・家庭学習の手引きを作成し、低学年、中学年、高学年向けの家庭学習の手順を子ども向け、保護者用にわかりやすく書かれ、学ぶ力が育てられると感じる。
- ・学力向上は、何といたっても教師一人ひとりの授業力の向上につきる。校内研の活性化、管理職の個々の教師に対するきめ細やかな指導を期待したい。

視点② 学校は、少人数指導等きめ細かな学習指導の工夫改善に、学校全体で取り組んでいる。

- ・昨年の授業参観で分数の少人数授業を見せていただきました。クラスを二つに分け、少人数での先生の指導力や児童の考えが吸い上げられて授業が進んでいく姿を見せてもらい、私の時代では考えられないきめ細かな授業内容で新鮮さを感じました。
- ・1クラスの人数が多く、少人数指導ができない場合に、サポートできる体制があれば良いかと思っています。放課後の学習は集団下校のため制限されるので、授業の中で理解させる手立てがあればと思います。
- ・学年内での学力差が大きいのは、多人数の弊害だと思う。少人数での授業やフォローアップがあれば良いと思う。
- ・少人数指導は低学年でもできるといいと思う。最初につまずいてしまうと、勉強への意欲や自信がなくなると思う。人数が多いと発言や発表の機会も少ないと思う。

視点③ 学校では、校種間の滑らかな接続を図るための連携がとれている。

- ・幼小中の連携は、子どもたちのためには欠かせないと思うが、時間の制約や連携方法等で、なかなか難しいのが現状のようである。まず、先生方同士の連携の場を多く持ち、風通しをよくしていくことが大切である。
- ・各学校の独自性も良いと思いますが、交流も良いと思います。また、認定こども園も発足してきますので、各園・小・中学校との情報交換や連携も大切にしてもらいたいです。

視点④ 学校は、読書活動の推進や児童生徒の思考力・判断力・表現力を育むため、

言語活動の充実を図る取組を行なっている。

- ・読書活動を充実させる取組として、読み聞かせや音読集会等を実施されており、特に音読集会は思考力や判断力、表現力を養うには非常に適していると思う。
- ・読書活動の推進はよくできている。児童は、読書が好きで、また、読み聞かせのときの聞き方も上手。静かに聞き、感じるころがあれば表情が豊かに変わる。
- ・「読書活動」「詩の暗唱」等、どの子ども意欲をもって取り組めるように、さらに工夫改善してほしい（やったことが次の活動に生かされたり、発表の場を設けるとか。）。

視点⑤ 学校は、体験的な学習や問題解決的な学習を重視した教育の推進に取り組んでいる。

- ・体験的な学習について、ICT機器を利用した新聞づくり、統計図表の作成あるいは英語のヒアリング等子どもたちの学びを広げるためにも、多方面にわたって教えていただきたい。
- ・体験学習では、地域性を活かした菓草茶づくりや蕎麦うち体験等の学習から、県外での体験学習まで、感動体験や楽しい授業に取り組み、子ども達には大変良い経験だと思う。

視点⑥ 学校は、特別支援教育推進のため、管理職およびコーディネーターを中心に、組織的に取り組んでいる。

- ・就学前のLDの子どもに1年間関わらせてもらったことがあるが、細かい配慮、気配りなど、温かく見守っていただいた。
- ・近年、特別支援教育の対象児童が多くなり、ADHD、不注意、多動性、衝動性で学習障がいを生じ集団生活が困難で、いわゆる、習得に時間のかかるため、発達の遅れている子ども達への指導で御苦勞を頂いて、頭が下がります。

4 地域に根ざし地域に開かれた信頼される学校の創造・・・評価 3.53

視点① 学校は、地域の人材を生かした学校運営と学習活動の工夫に積極的に取り組んでいる。

- ・地域の人材バンクを公開してください。お名前がわかれば人がわかりよいサイクルが回り出すかもしれません。埋もれている人の人材も発掘できる。
- ・コミュニケーションが必要だと思う。先生方が積極的に字別懇談会や子ども会などに顔を出し、地域の人たちと顔なじみになることが良いと思う。保護者の顔色を伺うのではなく、「共に力を合わせて子どもたちを育てていく」という意識をもって協力し合えば、学校と地域が一体となって子どもたちがより安全安心で明るくのびのびと育っていくと思う。
- ・図書ボランティア、学習ボランティア、その他のボランティアさんの存在は大事だと思います。学校の先生以外の人たちとの交流は、子どもたちにとって新鮮に感じられると思います。
- ・学校の方でどのようなときにボランティアを求めているのかが分からないので、ボランティアをお願いするプリントを地域の方にも配り、協力を依頼されてはいかがですか。

視点② 学校は、郷土の自然や文化・伝統を生かした教育活動の推進など特色ある学校づくりに取り組んでいる。

- ・地域の人・自然・文化等にふれるために、積極的に校外活動による学習も採り入れた教育活動を実践され、特色ある取組をされていると思う。
- ・郷土の自然、文化、人材には、やはり足を運んで会いに行ってほしい。先生方も地域の行事にできる範囲で参加し、子どもを取り巻く環境を知ってほしい。
- ・地域の方からの協力も得ながら教育活動が進められていると感じていますが、先生方も日頃の生徒の対応に忙しく、対応することが出来ないように感じます。出来れば、先生のOBなど市として予算を確保して、地域から支援いただくと、もっとよい体験学習ができる。
- ・子ども達は、スポ少とかが忙しすぎて、なかなか地域の行事等への参加が難しくなっています。もっと地域のお祭りやイベントへの参加ができるとよいと思います。
- ・地域に根ざしているとはあまり思えない。いろいろな地域があり難しいと思うが…。特色ある学校作りが見えてこない。もう少し、校外に出て校外での体験や学習があっても良いのではないかと思います。地域にこだわらず、学校としての特徴を見つけてほしい。

視点③ 学校は、安全・安心な学校づくりに向け、職員研修の実施や家庭・地域・PTAとの連携による取組により、児童生徒の安全を確保している。

- ・安全確保について、特に低学年の下校時の見守りがとても大切であると思います。学校からのメール配信は、下校時刻の変更等でスクールガードにとって大変役に立ちました。保護者の送迎で車に同乗した子どもの帰宅方法の変更についての連絡のあり方等今後検討する課題も新たに出てきました。
- ・保護者との防災訓練や、地域との連携による登下校時のスクールガードの支援等、安全・安心な学校運営に努力されている。
- ・交通事故発生を受けて学校側は、子ども達の安全確保のために懸命に努力されていると感じる。地域でも現役を退かれたシルバーの方々を中心に、週2回程度下校時の見守りのサポートなどをさせていただいており、一定の連携した取組をされている。
- ・スクールガードや横断歩道の立ち番の方など「子ども見守り隊」の役を担ってくださる方に目立つ色（例えば蛍光色）のジャンパーを配布してはどうか。パッとジャンパーの明るい色が見えるとハンドルを握っているときも意識が高まります。

平成25年度

小・中学校学校評議員による学校評価

【中学校集計結果】

4：よくできている 3：できている 2：あまりできていない 1：できていない

1 学校経営全体に関わること・・・・・・・・・・・・・・・・ 評価 3.50

視点① 学校の目指す学校像・子ども像は、地域や子どもたちの実態に合っている。

視点② 学校の教育目標、重点目標、学校の様子等を、学校便り等により保護者や地域にわかりやすく説明するなど、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組んでいる。

- ・学校教育目標は生徒・保護者によく理解されている。学校だよりは、地域の各戸に回覧され、内容は充実している。校長のリーダーシップのもと登下校時指導は効果を上げている。体育大会や文化祭に出席されている保護者は多く、地域に信頼される学校運営がなされている。
- ・職員のアンケート結果から、教育目標達成のため、職員が一丸となって教育活動に取り組む姿勢が弱いとの反省点が見受けられる。管理職員が平素より教員に寄り添い自然な形で職員の気持ちを理解しつつ組織の一員としての自覚を促していくことが大切と思われる。
- ・学校だより、保護者会等で詳しく説明され、保護者はある程度理解できているが、地域全体の理解が得られにくいのが課題だと思います。
- ・目標を持つことは大切であるが、生徒には確たる目標となっているのか、漠然とはしていないまでも不明瞭である。価値観の多様化時代、その目標とするところは生徒個人個人の心と合致しているのか分からないが、往々にして焦点がずれることがあるので、身が入らない生徒もいるのでは？”

視点③ 校長のリーダーシップのもと教職員が一丸となって、学校の教育目標達成に向け、協力して取り組んでいる。

- ・管理職はリーダーシップを発揮し、毎学期に学校教育に関する評価を生徒・保護者・教職員の3者が行うことによって教育活動の状況把握に努めている。そのことによって、保護者の学校教育への信頼や評価も高くなっている。
- ・校長先生のリーダーシップが発揮され、教師や生徒に学校教育目標がしっかり浸透しています。心、体、頭の3つを鍛えることは大変わかりやすく、具体的にイメージしやすくよい。
- ・学校長が率先して、わかりやすく覚えやすい目標を立てておられるにもかかわらず、みんな（先生、生徒、保護者）がそれに向かってがんばろうとする姿勢がやや弱くなってきているように思います。
- ・校長のリーダーシップこそ一番大切です。先生方とのコミュニケーションを十分に取り、1日1日を勝負の日と決めて取り組んでください。

2 自立した人間として生きていくための総合的な力「人間力」を育む教育の充実 評価 3.30

視点① 学校は、道徳教育の推進やいのち・人権を大切にすする心の教育の推進および「いじめのない学校づくり」に向けていじめの未然防止・早期発見・早期解決に積極的に取り組んでいる。

- ・授業、行事など、子どもと教師の信頼関係もあり、子どもたちは前向きな姿勢で取り組んでいます。いじめのない学校や人権を尊重する風土ができつつあると思います。不登校気味の目立たない子どもたちへの配慮もしっかりされていると思います。
- ・いじめのない学校づくりに向けて、日頃の先生方の努力に敬意を表します。今後も、生徒たちにより一層のシャープな人権感覚を養うために、道徳の授業時間の充実といのち・人権を大切にすする心の教育の推進に御尽力願いたい。
- ・「いじめの問題」は学校の問題というより、子育てや家庭の問題（仲間を自殺にまで追いやる子どもたちの育ちの背景、いじめる子どもの自尊感情の低さ（不満、劣等感、攻撃性・・・）が大きく関わっていることを、世間や地域にもっとアピールするような資料、リーフレット（「心豊かな子どもを育てる家庭教育のあり方」を具体的事例などを用いて）の作成、講演会などをされてはいかがでしょうか。ZTV などうまく活用できないでしょうか。
- ・全校で取り組んでいる生徒会活動等の活発な様子から、生徒自ら申し合わせを改善し、全生徒が各自自覚して活動している様子がうかがえる。
- ・「あなたはこの世に必要な人だ」ということも、教えてあげてください。自分を愛し、大切にできる人は、他人も愛し、大切にできると思います。

視点② 学校は、児童生徒が社会性や規範意識を身につけ、望ましい勤労観や職業観を育てる系統的なキャリア教育に努めるなど、自己指導力を培う教育に積極的に取り組んでいる。

- ・生徒の登下校時には、交通ルールを守り、地域の人に挨拶や会釈をするなど礼儀正しい。社会性が身につけていると思う。
- ・職場体験は、中学生時代に社会を見る良い経験になると保護者の方も評価されています。
- ・職場体験や修学旅行等は社会性や規範意識を身につける機会となっているが、継続するためにも家庭、地域と連携して、さらに効果を上げていただきたい。
- ・社会性や規範意識は人権・道徳教育同様に学校教育だけでは限界があり、地域や家庭教育の果たす役割も大きく、PTAや地域の連携に努められたい。
- ・登下校時の交通マナーについては、修正が必要と思われる（ノーヘル、自転車の並進）。

視点③ 学校は、児童生徒が運動やスポーツに親しみ、体力の向上を目指す教育の推進に取り組んでいる。

- ・部活動の数が年々少なくなっている。外部の講師を依頼するなど、もう少し増やし、生徒の選択の幅を広めることなども必要だと思います。

- ・部活動に積極的に取り組まれ、子どもたちもやりがいをもって取り組んでいる。また、地域で開催されるスポーツイベントの競技やボランティアに積極的に参加することによりスポーツや体力向上に対する関心も高いと思われる。
- ・極少数人数の中で、個々の違いや意見、議論をする場が少なくなる可能性があるが、部活動や地域とのつながりを持つことで人間力の育成に努めていると感じる。
- ・スポーツ少年団（小学生）では、スポーツの基礎、基本を教え、中学校へ送っている。そのため、中学校の部活動では、スポーツ少年団との連携を密にしていきたい。

3 個性を生かしつつ一人ひとりに確かな学力を育む教育の充実・・・評価 3.23

視点① 学校は、市や全国の学力量況調査の結果を分析し、学力向上策を立て、基礎基本の定着と確かな学力を育む教育の推進に取り組んでいる。

- ・小規模校ながら、基礎能力は高いという言葉がうれしく思えた。ただ、小規模化が今後も進む中で、その特徴を生かした指導をお願いしたい。生徒間で馴染みのぬるま湯感があるのか、中学生としての迫力に乏しい気がする。
- ・前年度の市学力量況調査および全国学力・学習状況調査から、明らかになった本校の課題をふまえ、学力向上の具体的な改善策が実施されていることは評価できる。
- ・今後も応用力・活用力の向上に向けた授業内容の工夫・改善に取り組まれない。また、個別指導やグループ学習・家庭学習の習慣化等基礎学力の向上に向け引き続き取り組まれない。
- ・家庭での勉強のしかたをしっかりと教えてあげてほしい。
- ・学力を身につけることだけでなく、体験的な学習や問題や課題解決につながる学習を行っている。また、特別支援教育にもしっかりと向き合い、取り組まれていると思う。
- ・家ではなかなか机に向かえない子どもでも、先生方が教室を開放し、質問しやすい環境をつくって下さると、勉強にも向き合えるのではないのでしょうか。

視点② 学校は、少人数指導等きめ細かな学習指導の工夫改善に、学校全体で取り組んでいる。

- ・英語教育については、少人数指導も行われており成果もみられるが、他の科目についても可能な限り同様の取組を期待する。
- ・数学の少人数制はよい取組だが、学力別にした方が学力向上になるのではないか。また、宿題をもっと出してほしいと保護者の意見があった。

視点③ 学校では、校種間の滑らかな接続を図るための連携がとれている。

視点④ 学校は、読書活動の推進や児童生徒の思考力・判断力・表現力を育むため、言語活動の充実を図る取組を行なっている。

- ・読書活動については、特別プロジェクトチームでも作って、かなり精力的に取り組まないと現在の環境では難しいと思われます。

- ・「朝読書」の取組は、読書の習慣を身につけさせ、読む力、読解力など、生きる力の基礎・基本となる力を育てる大切な有意義な取組だと思えます。
- ・中学生広場では、堂々と自分の意見を発表することができ感心しました。今後もこのような場を多く設け表現力豊かな生徒の育成に取り組んでいただければと思えます。

視点⑤ 学校は、体験的な学習や問題解決的な学習を重視した教育の推進に取り組んでいる。

- ・言語活動の充実を図るために、友達と一緒に集団で学習することの楽しさや自分の思いや考えを出し合えるような授業展開の準備と工夫をできるだけ毎時間お願いしたい（体験的な学習や問題解決学習を推進される中で）。
- ・体験学習を通して、一回りも二回りも成長したと実感される保護者が多く、今後も受け入れ側と連携しながら積極的に取り組んでいただきたい。
- ・修学旅行での民泊や職場体験は、子どもたちにも地域との関わりや働くことの意義を知る機会であるとともに思考力・判断力・表現力を育む有効な機会であり今後も続けられたい。
- ・現在の ALT の働きは感心なものです。気さくで日本を愛する人材を採用し、生徒に国際力を十分につけてほしいと思えます。

視点⑥ 学校は、特別支援教育推進のため、管理職およびコーディネーターを中心に、組織的に取り組んでいる。

- ・高校での特別支援教育は充実しているので、高校へ進学するときには、保護者に十分説明し、中高での連絡がうまくいくように中学校での教育相談をより充実させてもらいたい。
- ・特別支援対象の生徒が近年増えてきているため、コーディネーターを中心に十分な職員の配置が必要と思われます。

4 地域に根ざし地域に開かれた信頼される学校の創造・・・評価 3.53

視点① 学校は、地域の人材を生かした学校運営と学習活動の工夫に積極的に取り組んでいる。

- ・地域には多くの良き人材がおられます。部活動や教科学習の中に、より一層の地域の人材の活用を期待したい。
- ・地域の貴重な人材や自然や文化に触れる体験学習では、実際に地域の人々と触れ、コミュニケーションを交わすことや、本物に触れるという経験をし、生徒は新鮮な気持ちで学習できたと思えます。また、ふるさと米原に対する愛着心を持つことでしょうか。郷土を愛する心を育てるための気の長い取組であり、とても大切な実践だと思えます。
- ・学校支援ボランティアの募集を行うなど積極的な取組を行われていますが、その後の活動状況等も報告いただけるともっと人材が集まると思えます。
- ・学校運営や学習活動の内容等については、学校評議員だけでなく民生委員児童委員や地域で活躍されている方など幅広い意見を集約し今後の活動に生かされたい。
- ・私の字では、運動会など中学生に役割を与えていますので、毎年小学生（高学年）と共に積

極的に動いてくれています。今では伝統となりつつあります。学校と地域の連携は、学校よりむしろ地域の「子どもを育てる」という意識の問題だと強く感じます。

視点② 学校は、郷土の自然や文化・伝統を生かした教育活動の推進など特色ある学校づくりに取り組んでいる。

- ・地域の風土や特色をつかみ、うまく運営や学習に取り入れ、教育活動を行っている。また、職員の研修も積極的に行われ、職員の質の向上、地域との連携もうまく実施されている。
- ・子どもたちが生まれた地域に対する誇りや愛着が醸成されるよう、職業体験に加えて、歴史や文化を学習する機会として、地域での祭事や行事に積極的に参加できるようお願いしたい。
- ・毎年行われる地域清掃は評価できるが、さらに、自治会活動の積極的参加（祭り等）を希望する。そうすることにより、異世代交流が実現でき、いろいろな知恵を学ぶことができる。
- ・高校を卒業すると、故郷を後にし、帰郷しない子どもを育てるのではなく、生地に帰り、郷里をもり立てていく人材を育てる教育をしてほしい。
- ・まずは、職員研修で校区・市内の自然・歴史等を学んでいただき、地域の身近な自然・文化・歴史等を各教科の中に取り入れ、授業に結びつける工夫が大切である。そのためにも、長期休暇中に職員研修として全員で地域の探索を行ってほしい。

視点③ 学校は、安全・安心な学校づくりに向け、職員研修の実施や家庭・地域・PTAとの連携による取組により、児童生徒の安全を確保している。

- ・門扉やフェンス設置または校舎内の遠隔操作施錠が可能な玄関のドアが必要だと思います。
- ・地域や家庭・PTAとの連携による児童生徒の安全確保は必要ではあるが、子どもたち自身が緊急時に安全確保に配慮できるような学習機会(交通安全教室や地震災害を想定した防災訓練等)をPTAや保護者と連携して実施されたい。
- ・長期休業中に、下記の事柄の実施を是非お願いしたい。
 - ① 校内器物の安全点検をそれぞれの担当部署ごとに実施する。
 - ② 校内に設置されたホースを使用して、放水訓練の実施を通し、非常の時、職員誰でも放水ができるようにする。
- ・生徒の暴言や対教師暴力には、校長先生をはじめ、多くの教員が関わり、時には警察に介入してもらってもよいと考えます。

米原市教育振興基本計画（目標指標）

基本目標 1 子どもの健やかな成長を支える教育を進める

施策	指標名	現状値 (平成24年度)	現状値 (平成25年度)	数値目標 (平成28年度)
1 就学前の保育・教育の充実	保育所待機児童数	0人	0人	0人
2 子どもの確かな学力の向上	研究推進指定校園数	4校	4校	3校
	学力状況調査における小学生の「読む能力」の正答率 ※H25から委託業者、調査内容を変更したため数値が大幅に変化したもの	84.50%	45.8%	(73.80%) 毎年の目標値超 H25 43.8%
	学力状況調査における中学生の「読む能力」の正答率 ※H25から委託業者、調査内容を変更したため数値が大幅に変化したもの	62.10%	45.5%	(73.00%) 毎年の目標値超 H25 47.5%
	図書巡回文庫事業対象学年数	6学年	6学年	5学年
3 豊かな心と体を育む教育の推進	児童の長期（年間30日以上）欠席率（小学校）	0.72%	0.55%	0.50%
	生徒の長期（年間30日以上）欠席率（中学校）	2.40%	2.00%	2.00%
	キャリア教育実践事業協力事業所数	139社	140社	170社
	学力状況調査における「困っている人の手助けをしている」の小学生の回答率 ※H25から調査項目を下記に変更 「上下関係なく誰とでも平等に接している」の小学生の回答率	70.90% —	— 68.8%	70.00%
	人権教育リーダー養成講座受講者数	270人	238人	250人
4 食育や環境教育など特色ある教育の推進	学校給食に地場産物を使用する割合（食材数ベース）	32.0%	31.9%	25.00%
	伊吹山等登山学習実施率	70.90%	81.25%	100.00%
5 特別なニーズに対応した教育の推進	障がい児通園事業 親子通園開設回数	282回	285回	対応の充実

基本目標 2 家庭・地域とともに子どもたちを育む

施策	指標名	現状値 (平成24年度)	現状値 (平成25年度)	数値目標 (平成28年度)
1 家庭の教育力の向上	家庭児童相談対応ケース数	313件	328件	相談体制の強化
2 教育を支えるコミュニティづくり	まなびサポーター登録者数	131人	133人	150人
	学力状況調査における「地域の行事に参加している」の小学生の回答率	86.30%	75.9%	90.00%
3 青少年の健全育成	放課後児童クラブ実施箇所数	10か所	10か所	10か所
	放課後キッズ実施箇所数	4か所	4か所	6か所
	少年補導委員街頭補導活動回数	970回	905回	950回
4 地域と連携した人材の育成	まなびサポーター登録者数(再掲)	131人	133人	150人

基本目標 3 安全・安心で質の高い教育が受けられる環境をつくる

施策	指標名	現状値 (平成24年度)	現状値 (平成25年度)	数値目標 (平成28年度)
1 教職員の資質や指導力の向上	教育課程の工夫を目指した研究推進校・園の校・園数	16校・園	16校・園	12校・園
	教職員研修の実施回数	26回	25回	23回
2 地域に開かれた学校づくり	あいさつ運動実施率	100.00%	100.00%	100.00%
3 安全・安心な学校施設の整備	小学校・中学校施設の耐震化率	92.50%	100.00%	100.00%
4 適切な教育環境の整備	「米原市保幼小中学校統合整備計画」の推進	統合1校 (小学校)	統合2校 (小学校)	計画の推進

基本目標 4 市民が学び、活動する意欲を高める

施策	指標名	現状値 (平成24年度)	現状値 (平成25年度)	数値目標 (平成28年度)
1 生きがいづくりを支援する生涯学習の推進	文化芸術振興自主事業回数	14回	19回	13回
2 学習を地域に広げる人材づくり	生涯学習まちづくり出前講座年間実施回数	142回	172回	170回
	ハートフルフォーラム(地域学習会)参加者数	1,842人	1,565人	3,000人
3 図書館を活用した読書活動の推進	市民一人当たりの図書館貸出冊数	12.54冊	11.83冊	14.44冊
4 生涯スポーツの振興	地域スポーツクラブ会員数	1,270人	1,058人	1,800人
	スポーツ少年団団員数	565人	528人	750人
5 生涯学習環境やスポーツ環境の整備	新グラウンド整備事業完成年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度

基本目標 5 米原の自然、歴史・文化に対する意識を高め、地域文化を育む

施策	指標名	現状値 (平成24年度)	現状値 (平成25年度)	数値目標 (平成28年度)
1 自然環境保全の意識向上	夢高原かっつび伊吹の参加者数	1,145人	1,313人 (中止)	1,000人
	いきいき健康ウォークの参加者数	257人	187人	500人
2 市民の文化・芸術活動の促進	特色あるまいばらの芸術展覧会 米原市民出品数	125点	170点	200点
	特色あるまいばらの芸術展覧会 市外出品数	156点	161点	150点
	文化協会員数	1,634人	1,437人	2,200人
3 歴史・文化の保存と継承	文化財補助事業申請件数	20件	24件	23件
4 歴史・文化に親しむ機会の充実	歴史講座受講者数	66人	57人	100人
	歴史イベント開催回数	4回	4回	2回